

統計からみた

わかやまの畜産'24

令和6年

和歌山県農林水産部農業生産局畜産課

目 次

I 和歌山県の畜産の概要

- 1. 畜産の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2. 農業産出額と畜産産出額・・・・・・・・・・・・・・2
- 3. 市町村別家畜単位の分布・・・・・・・・・・・・・・3

II 畜種別の動向

- 1. 乳用牛・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
 - (1) 飼養戸数及び飼養頭数
 - (2) 飼養頭数内訳
 - (3) 成畜飼養頭数規模別農家数割合(R6)
- 2. 肉用牛・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
 - (1) 飼養戸数及び飼養頭数
 - (2) 飼養頭数内訳
 - (3) 頭数規模別農家数割合(R6)
 - (4) 和歌山県熊野牛子牛市場取引頭数及び平均価格
- 3. 豚・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
 - (1) 飼養戸数及び飼養頭数
 - (2) 飼養頭数内訳
 - (3) 肥育豚飼養頭数規模別農家数割合(R6)
- 4. 採卵鶏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
 - (1) 飼養戸数及び飼養羽数
 - (2) 成鶏めす飼養羽数規模別農家数割合(R6)
 - (3) 鶏卵の生産量
- 5. ブロイラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
 - (1) 飼養戸数及び飼養羽数
 - (2) 出荷羽数規模別農家数割合(R6)

6. みつばち	14
(1) 飼養戸数及び飼養ほう群数	
(2) 飼養ほう群規模別飼養者数割合(R6)	
(3) はちみつの生産量	
7. 特用家畜	16
(1) 特用家畜の飼養状況	
(2) イノブタ、地鶏、ホロホロ鳥の飼養戸数及び飼養頭羽数	
Ⅲ 畜産関係機関	
畜産関係機関所在地一覧	18
Ⅳ 参考資料	
1. 都道府県別畜産統計	19
(1) 乳用牛の飼養戸数・頭数	
(2) 肉用牛の飼養戸数・頭数	
(3) 豚の飼養戸数・頭数	
(4) 採卵鶏の飼養戸数・羽数(千羽)	
(5) ブロイラーの飼養戸数・羽数(千羽)	
(6) ミツバチの飼養戸数・ほう群数及びはちみつ生産量	
2. 家畜衛生	24
家畜伝染病(法定伝染病)発生状況	
3. 畜産物生産費(全国)	25
(1) 乳用牛生産費	
(2) 肉用牛生産費	
(3) 豚生産費	
4. 畜産環境	28
5. 和歌山県の畜産物紹介	29

I 和歌山県の畜産の概要

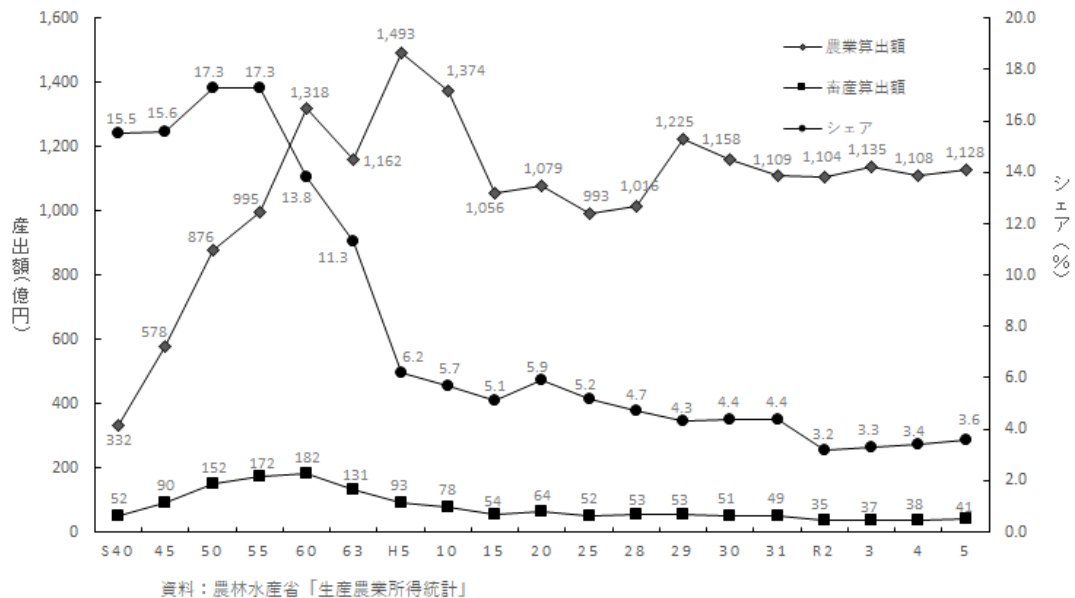
1. 畜産の現況

区分	単位	全国	近畿	和歌山県	全国順位	近畿地域内順位
飼養戸数(R6)						
乳用牛	戸	11,900	337	5	47	6
肉用牛	戸	36,500	1,270	44	42	4
豚	戸	3,130	45	5	45	5
採卵鶏	戸	1,700	137	18	30	4
ブロイラー	戸	2,050	62	16	28	2
みつばち	戸	12,061	1,166	294	20	2
飼養頭羽数・ほう群数(R6)						
乳用牛	頭	1,313,000	22,700	500	47	6
肉用牛	頭	2,672,000	92,700	2,870	44	5
豚	頭	8,798,000	40,500	1,140	47	6
採卵鶏	千羽	170,776	8,032	265	42	4
ブロイラー	千羽	144,859	3,249	231	36	3
みつばち	群	236,140	20,548	11,711	6	1
農業産出額(R5)	億円	90,142	4,689	1,128	32	2
畜産	億円	34,673	1,004	41	45	5
乳用牛	億円	8,844	224	6	47	6
肉用牛	億円	7,917	294	9	44	5
豚	億円	6,775	35	1	47	6
鶏	億円	10,162	439	19	43	3
その他	億円	979	10	5	12	1

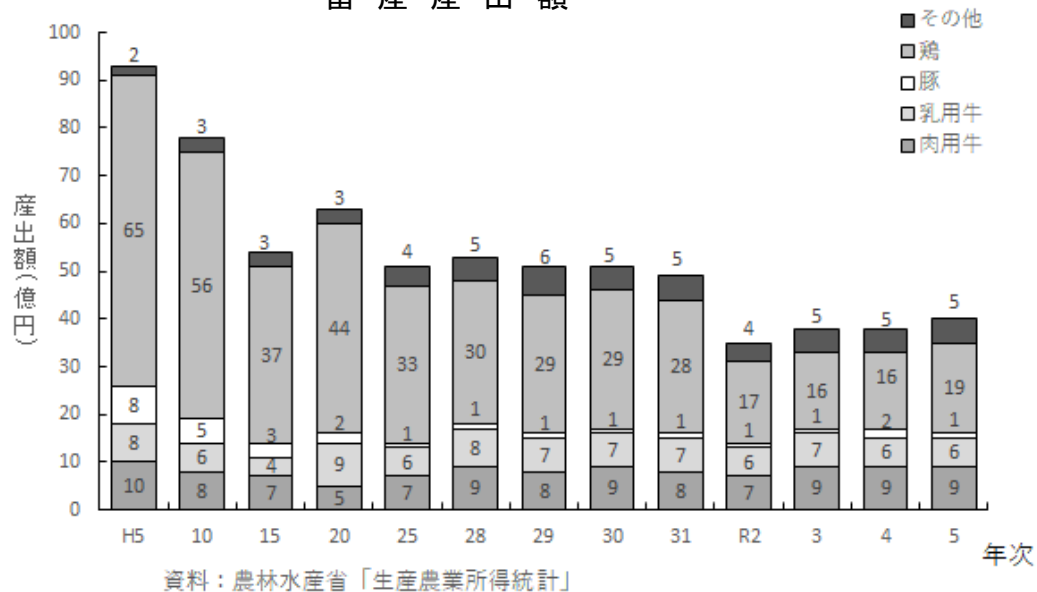
資料：農林水産省「畜産統計調査」、「生産農業所得統計」、県畜産課調べ(みつばち)

2. 農業産出額と畜産産出額

農業産出額と畜産産出額の推移

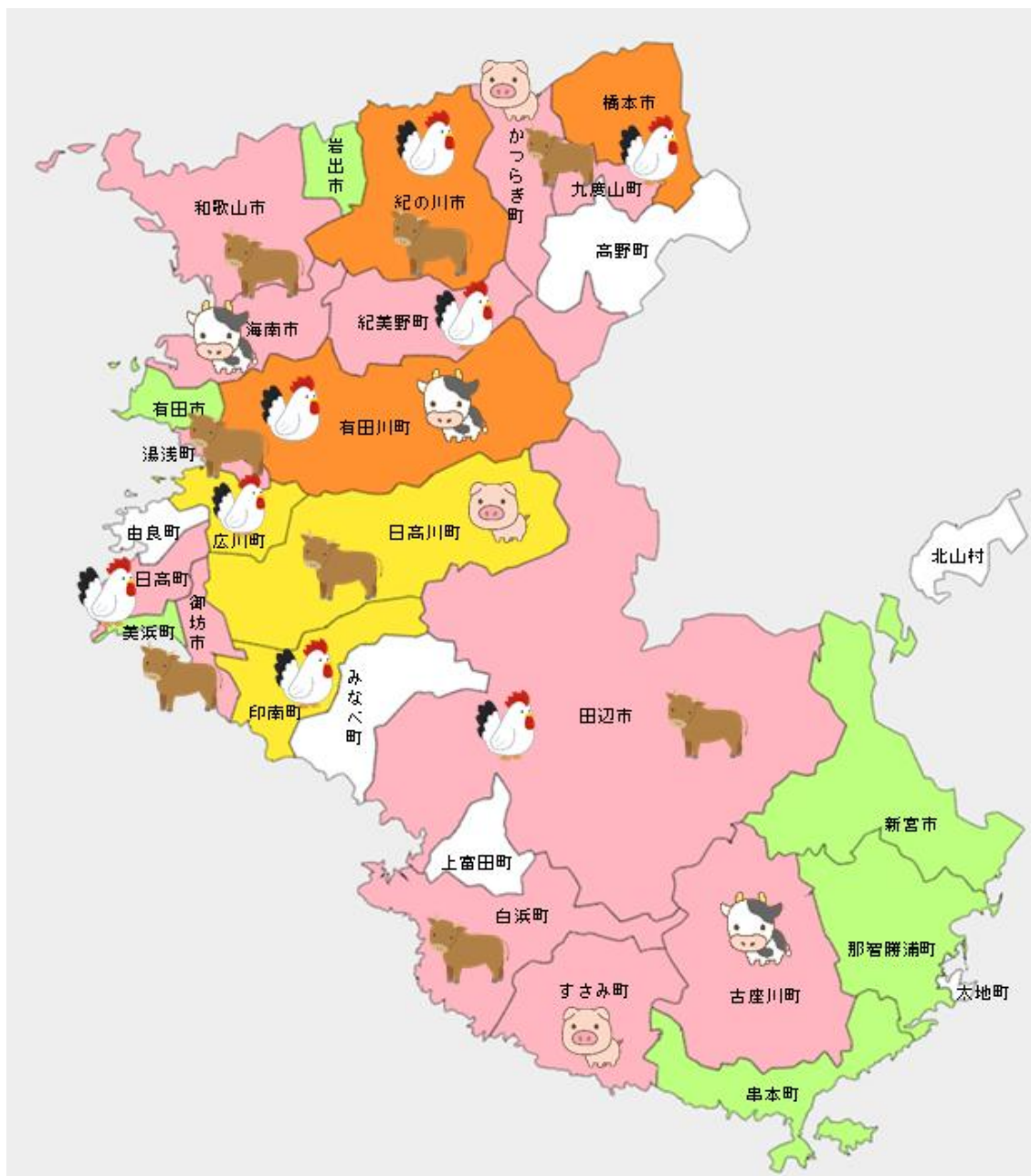


畜産産出額

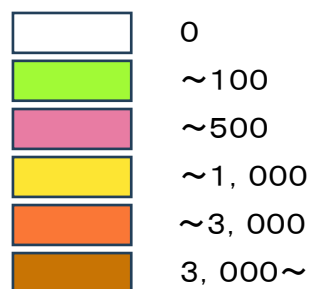


本県における令和5年の畜産産出額は、41億円で農業算出額の3.6%を占めている。畜産産出額は前年比3億円増でそのうちの19億円(46.3%)は鶏で、次いで肉用牛9億円(22.0%)、乳用牛6億円(14.6%)、豚1億円(2.4%)その他畜産物5億円(12.2%)となっている。

3. 市町村別家畜単位の分布



家畜単位: 牛1頭、豚5頭、鶏100羽を1単位とする

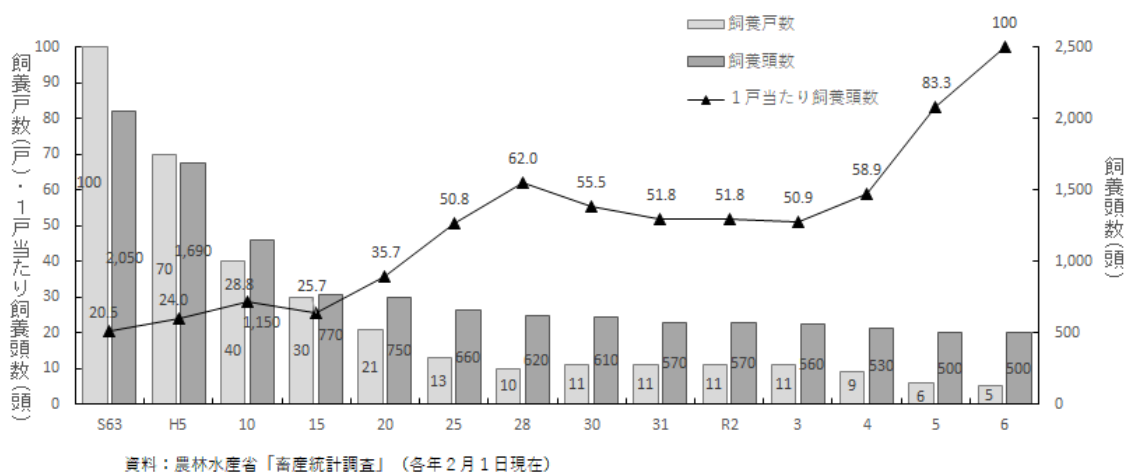


資料: 県畜産課調べ(令和6年2月1日)

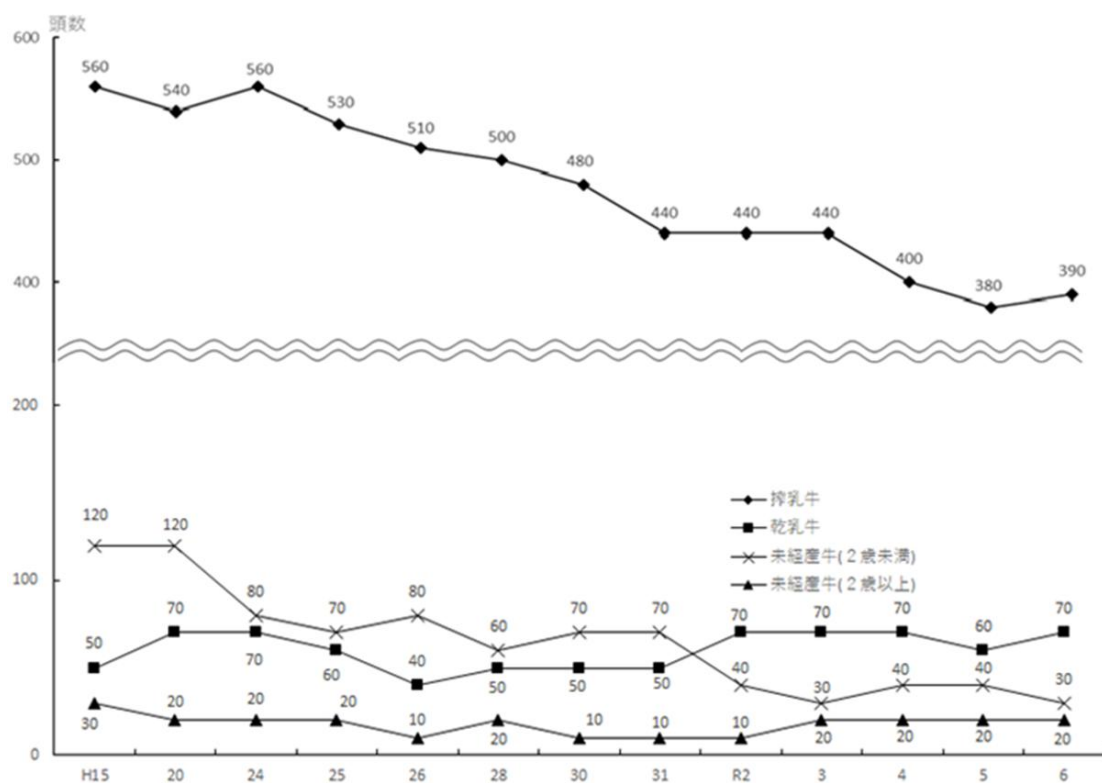
Ⅱ 畜種別の動向

1. 乳用牛

(1) 飼養戸数及び飼養頭数

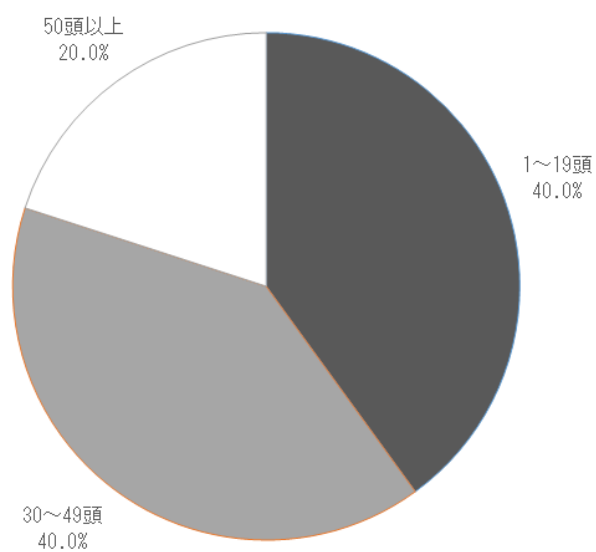


(2) 飼養頭数内訳



- ・搾乳牛 経産牛のうち搾乳中の牛のこと
- ・乾乳牛 経産牛のうち搾乳していない牛のこと
- ・未搾乳牛 出生してから分娩するまでの牛で、生後24か月くらいまでが主体。

(3) 成畜飼養頭数規模別農家数割合(R6)



資料：農林水産省「畜産統計調査」

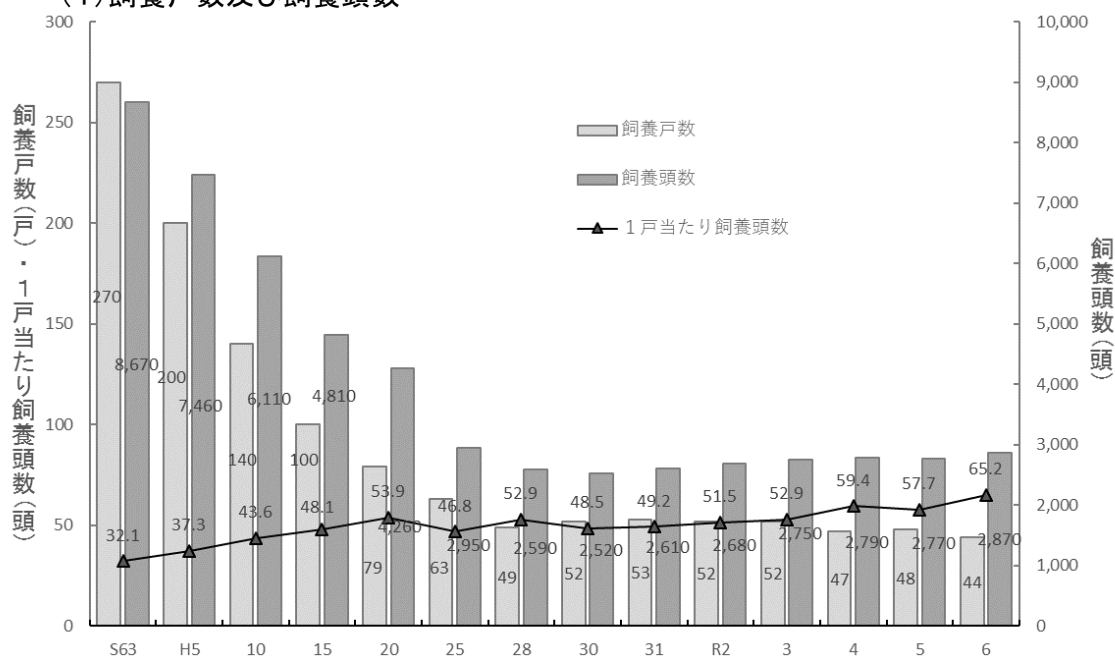
飼養戸数は5戸

飼養頭数は500頭、1戸当たりの飼養頭数は100(全国平均110.3)頭だった。



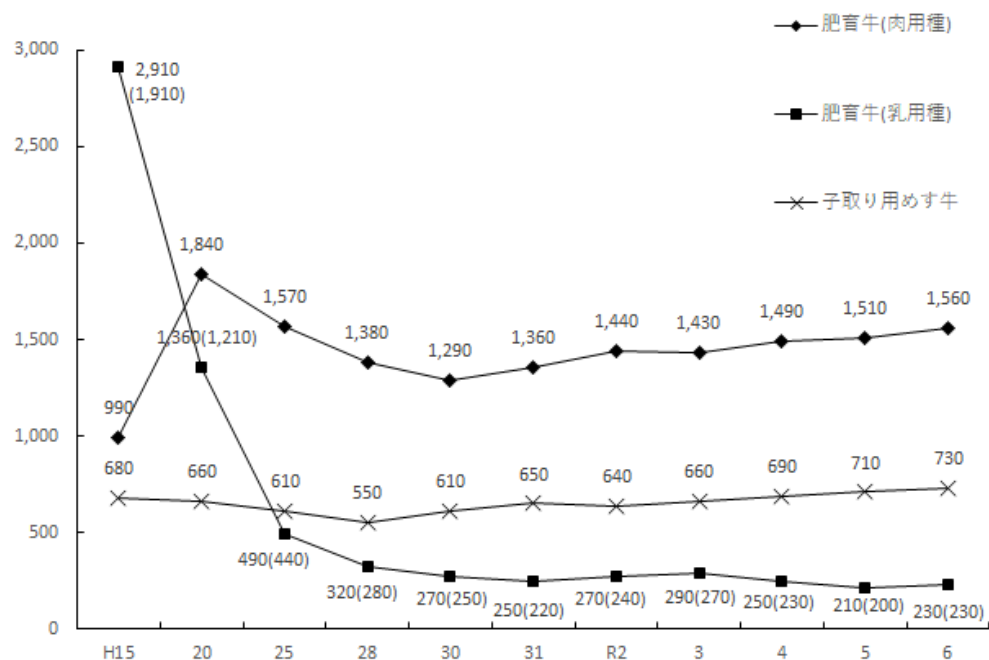
2. 肉用牛

(1) 飼養戸数及び飼養頭数



資料：農林水産省「畜産統計調査」(各年2月1日現在)

(2) 飼養頭数内訳



・肥育牛

肉用牛として販売することを目的に飼養している牛のこと。

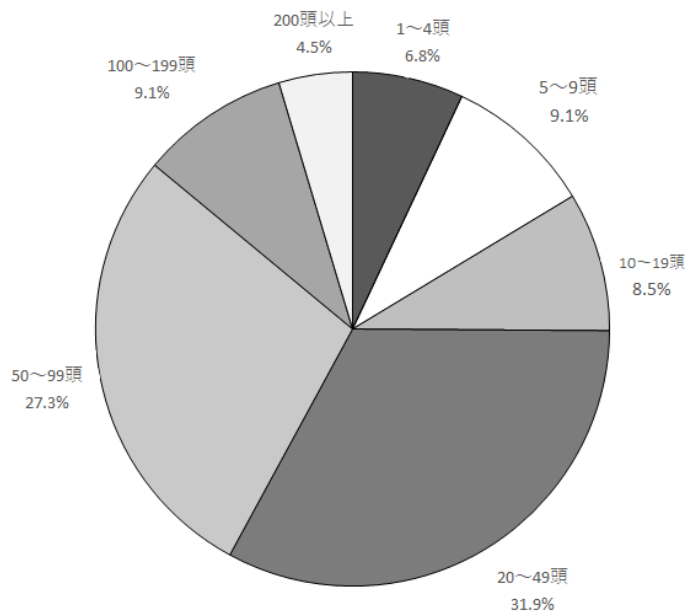
したがって、ほ乳・育成中の牛でも引き続き自家で肥育する予定のものは肥育牛とする。

・子取り用めす牛

子牛を生産することを目的に飼養している肉用種のめす牛のこと。

過去に種付けしたことのあるめす牛及び将来種付けすることが確定している牛である。

(3) 頭数規模別農家数割合 (R6)



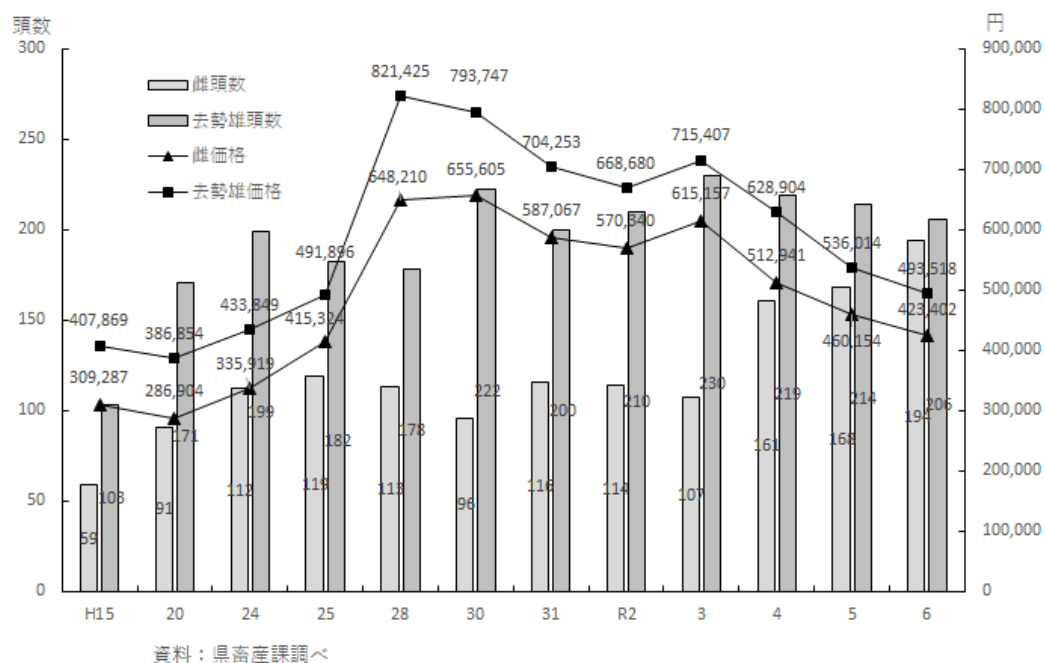
飼養戸数は44戸。

飼養頭数は2,870頭。

1戸当たりの飼養頭数は65.2(全国平均73.2)頭で、前年に比べ7.5頭増加した。

頭数規模別農家数割合では50頭未満の農家数が6割以上占めている。

(4) 和歌山県熊野牛子牛市場取引頭数及び平均価格



和歌山県熊野牛子牛市場は令和4年度より年4回から年5回開催となった。

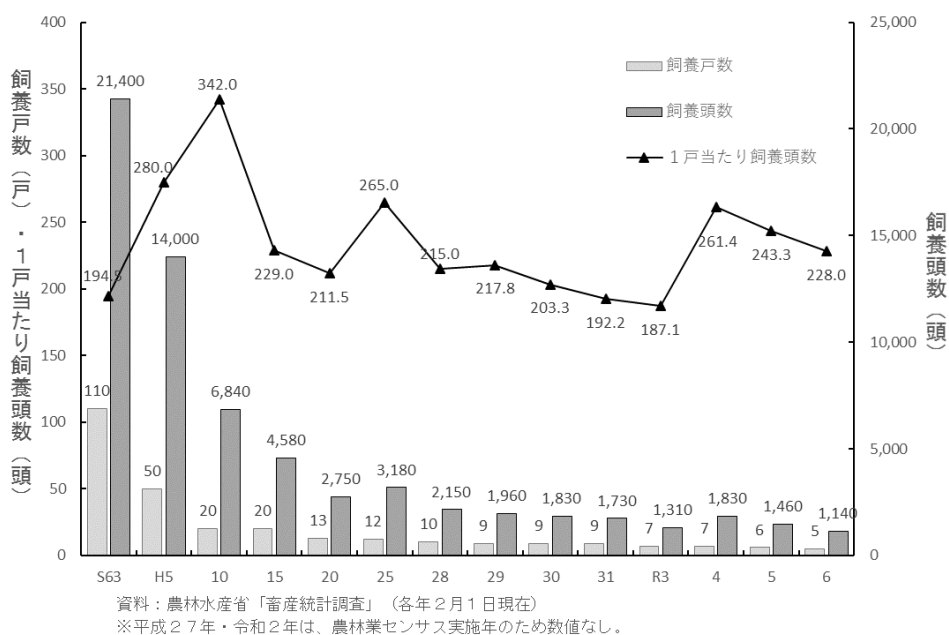
令和6年度の取引頭数は、370頭で前年度より12頭減少した。

一方、雌の取引価格は423,402円、去勢の取引価格は493,518円で、前年度に引き続き減少した。

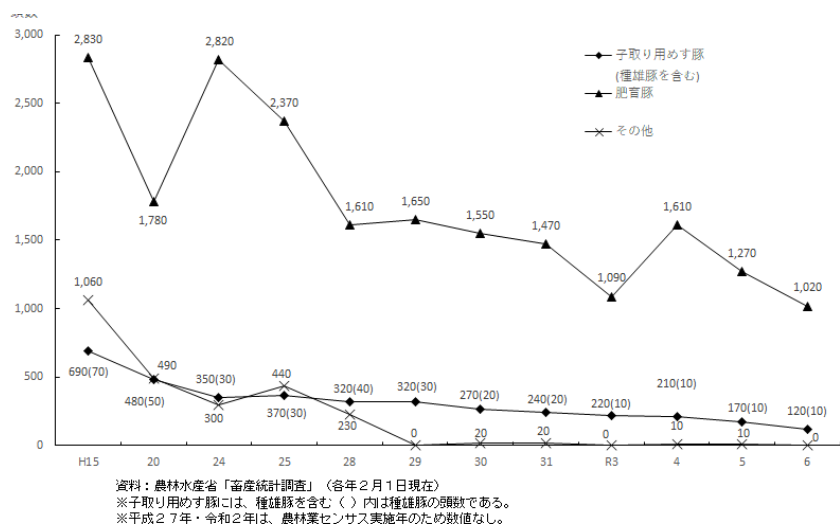
3. 豚

(1) 飼養戸数及び飼養頭数

(1) 飼養戸数及び飼養頭数



(2) 飼養頭数内訳



・子取り用めす豚

生後6か月以上で子豚を生産することを目的に飼養しているめす豚のこと。過去に種付けしたことのある豚及び近い将来種付けすることが確定している豚である。

・種雄豚

生後6か月以上で種付けに供することを目的に飼養している雄豚のこと。過去に種付けに供したことのある豚及び近い将来種付けに供することが確定している豚である。

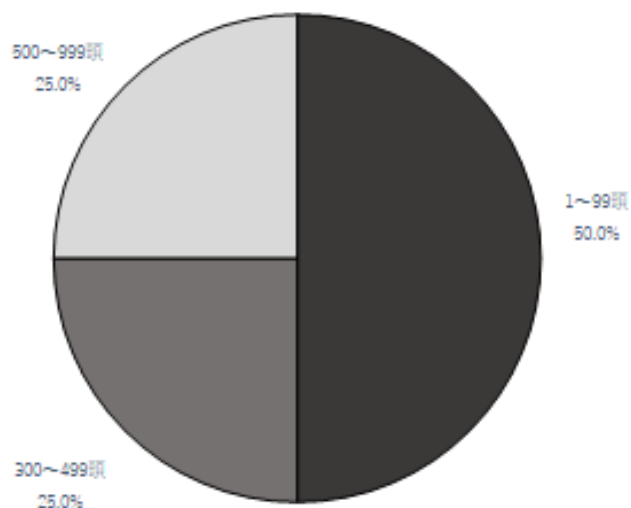
・肥育豚

自家で飼養して肉豚として販売することを目的に飼養している豚のこと。
 肥育用のもと豚として販売するものは含めない。

・その他

上記以外の豚をいう。また、肥育用のもと豚として販売するものはここに含める。

(3) 肥育豚飼養頭数規模別農家数割合<R6>

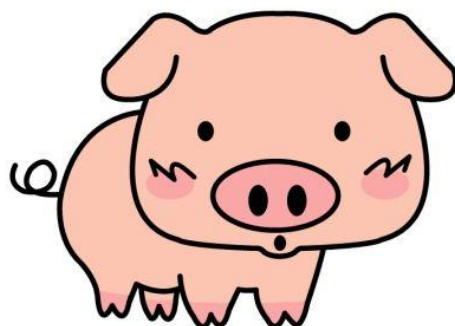


資料：農林水産省「畜産統計調査」

飼養戸数は5戸。

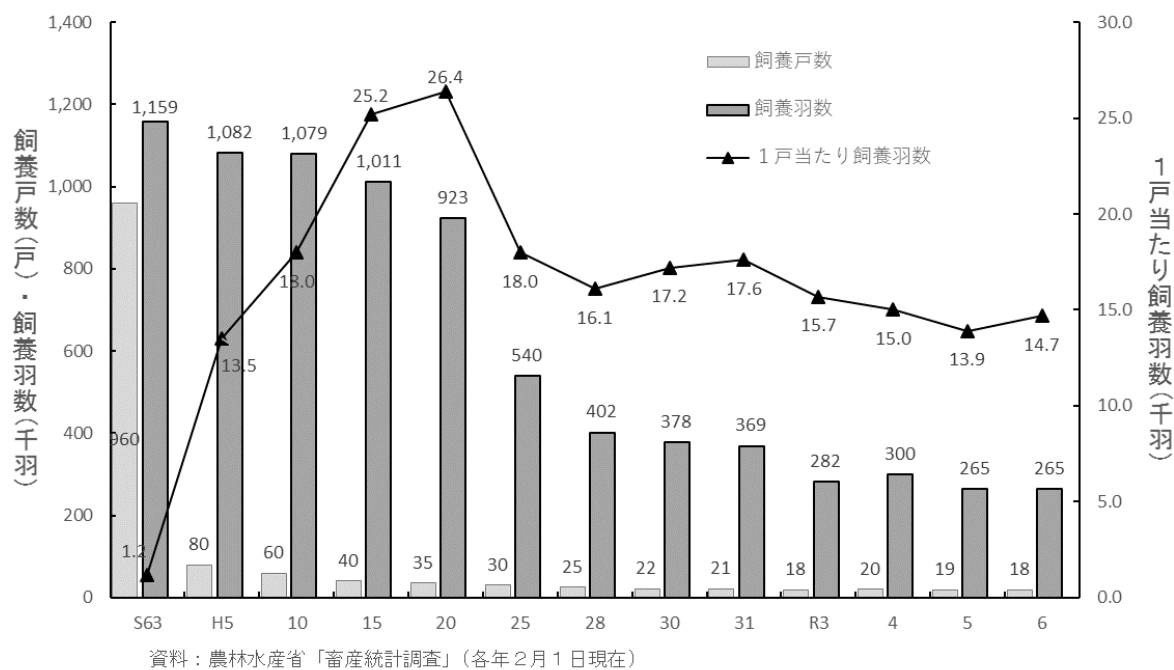
飼養頭数は1,140頭。

1戸当たりの飼養頭数は228.0(全国平均2,810)頭だった。



4. 採卵鶏

(1) 飼養戸数及び飼養羽数



※飼養戸数について、平成10年より1,000羽未満の飼養者を除く。

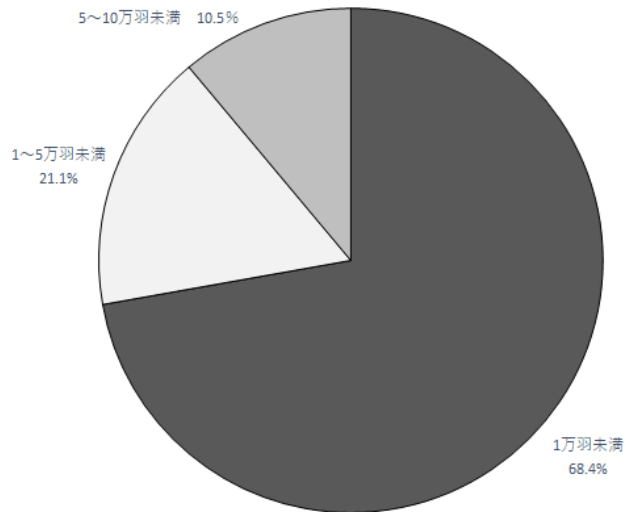
平成14年より種鶏農家を除く。

※平成27年・令和2年は農林業センサス実施年のため数値なし。

・採卵鶏 鶏卵を生産することを目的として飼養している鶏のこと。



(2) 成鶏めす飼養羽数規模別農家数割合(R6)



資料：農林水産省「畜産統計調査」
・成鶏めす 生後6か月齢以上のめすの鶏のこと。

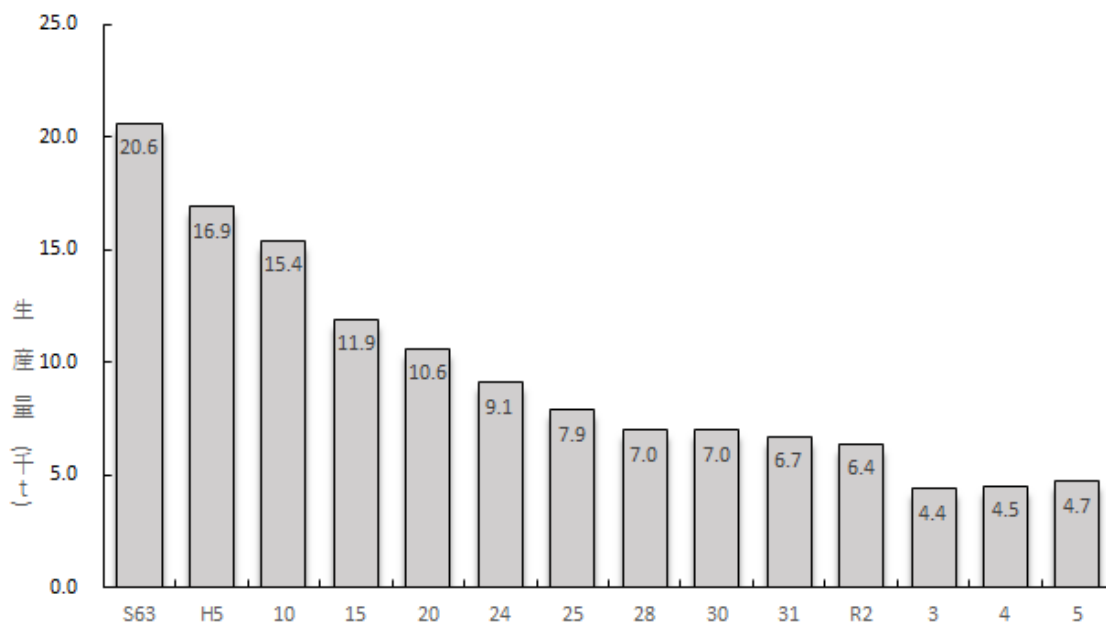
飼養戸数は18戸。

飼養羽数は265千羽。

1戸当たりの飼養羽数14.4千羽(全国平均79.1千羽)だった。

成鶏めす飼養羽数規模別農家数割合では、1万羽未満の農家数が全体の約7割を占めている。

(3) 鶏卵の生産数

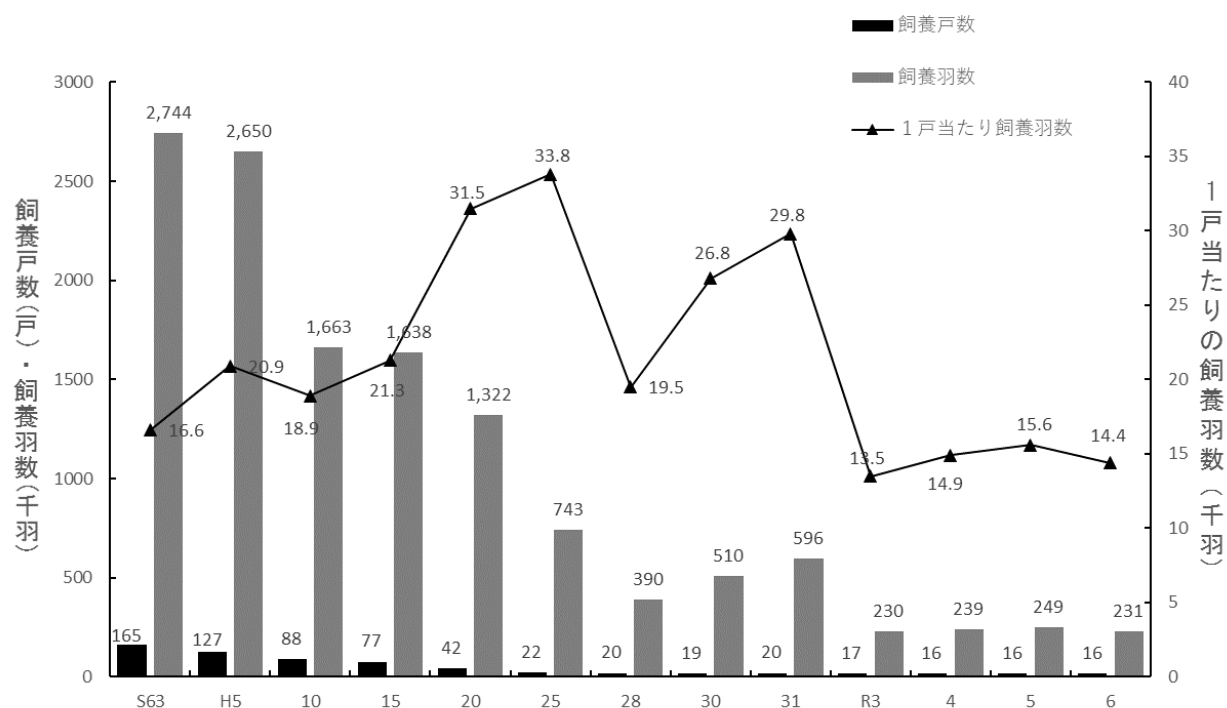


資料：農林水産省「畜産物流通統計」

令和5年における県内の鶏卵の生産量は4,730トンだった。

5. ブロイラー

(1) 飼養戸数及び飼養羽数

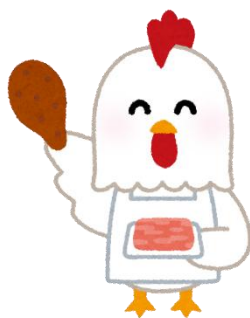


資料：農林水産省「畜産統計調査」〈各年2月1日現在〉

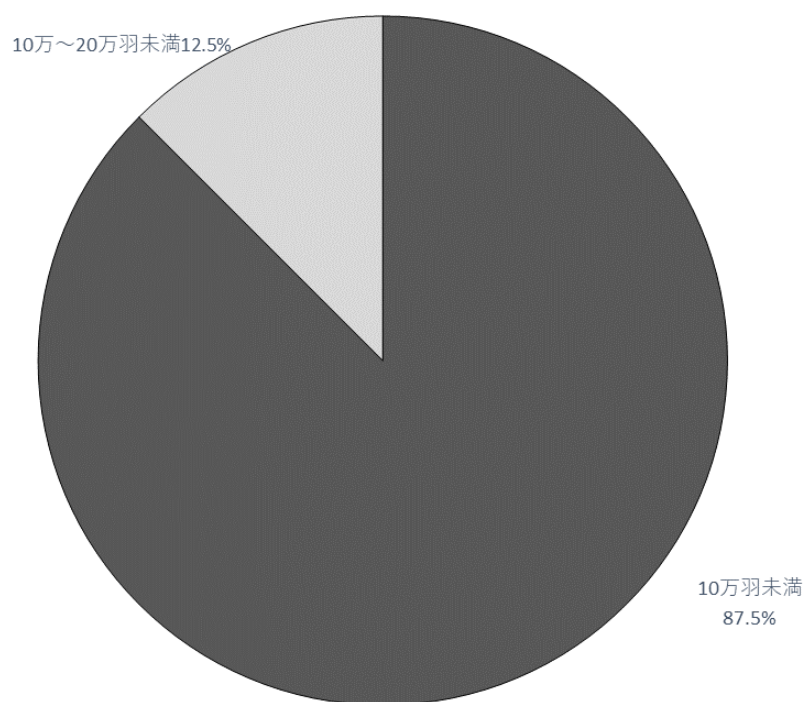
※平成22年以降は国が調査を中止したため、24年までは県畜産課調べの数値。25年より調査を再開。

※平成27年・令和2年は農林業センサス実施年のため数値なし。

ブロイラー：食用に供される肉用若鶏のこと。



(2)出荷羽数規模別農家数割合(R6)



資料：農林水産省「畜産統計調査」

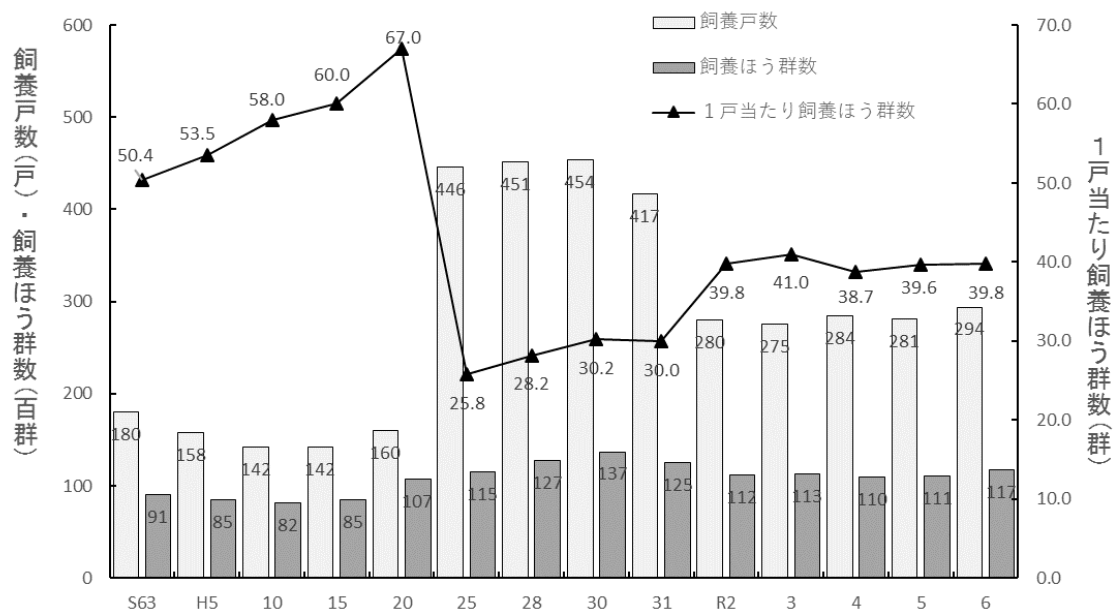
飼養戸数は16戸。

飼養羽数は231千羽。

1戸当たりの飼養羽数14.4千羽(全国平均70.7千羽)だった。

6. みつぱち

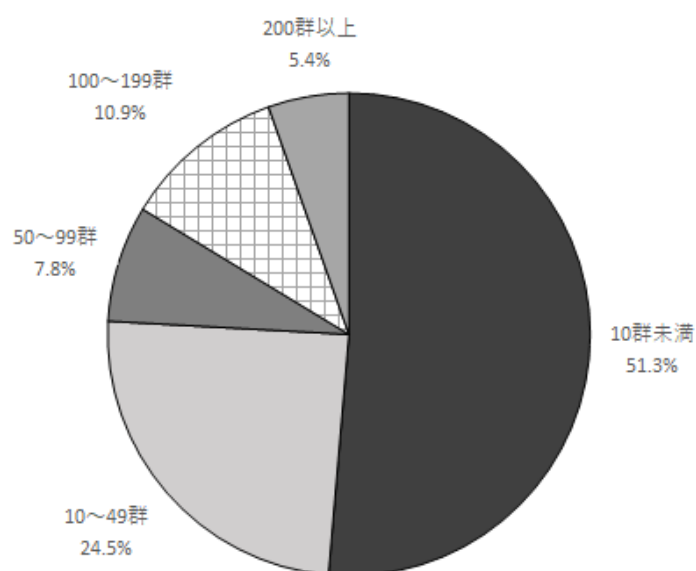
(1) 飼養戸数及び飼養ほう群数



資料：県畜産課調べ(各年1月1日現在)

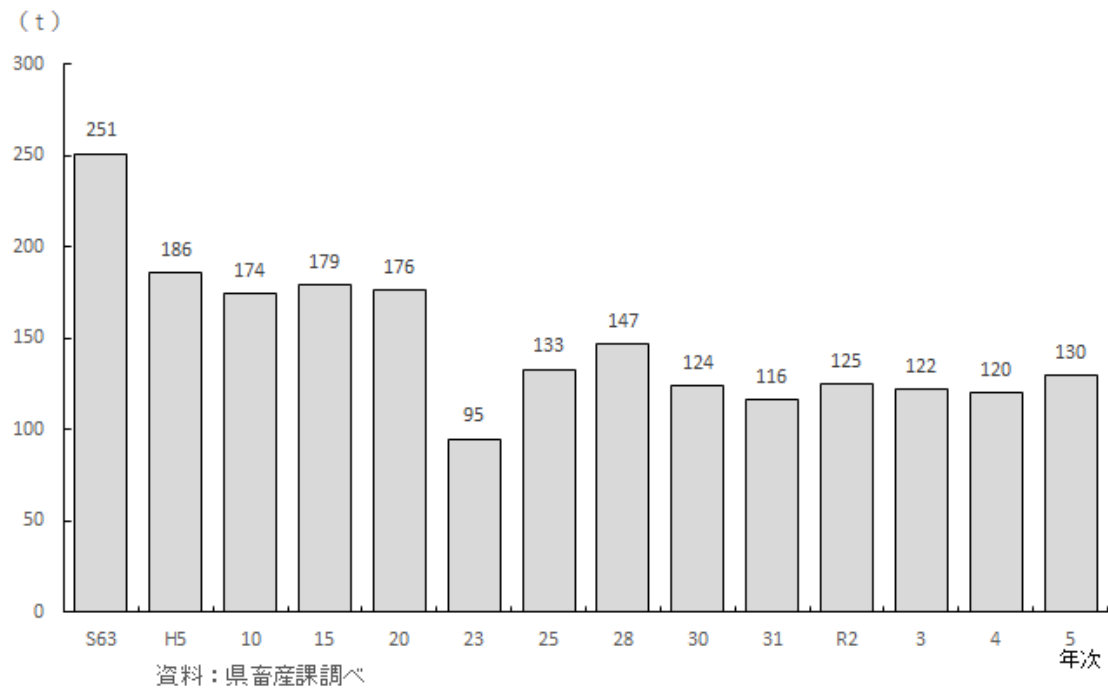
※養ほう業者以外の飼養者を含む。

(2) 飼養ほう群規模別飼養者数割合(R6)



資料：県畜産課調べ

(3) はちみつの生産量



令和6年1月1日現在における飼養戸数は294戸、飼養ほう群数は11,711群で、戸数全国20位、ほう群数全国6位、令和5年次のはちみつ生産量全国7位である。

1飼養者当たりの飼養ほう群数は39.8群で、規模別にみると50群未満の飼養者が88.4%を占めている。



7. 特用家畜

(1) 特用家畜の飼養状況

(令和6年2月1日現在)

畜 種	飼養戸数 (戸)	飼養頭羽数 (頭・羽)	備 考
地鶏	8	2,540	
ホロホロ鳥	1	50	
アイガモ アヒル	9	8,600	
イノブタ	5	279	F ₁ (イノシシ×ブタ)45、B ₁ (F ₁ ×ブタ)234
イノシシ	13	44	イノブタの繁殖雄(猪)を含む
めん羊	6	20	
山羊	82	203	
馬	20	107	
鹿	4	104	
ダチョウ	2	4	
実験動物等	25	136,540	モルモット、マウス、ウサギ、ミニブタ等

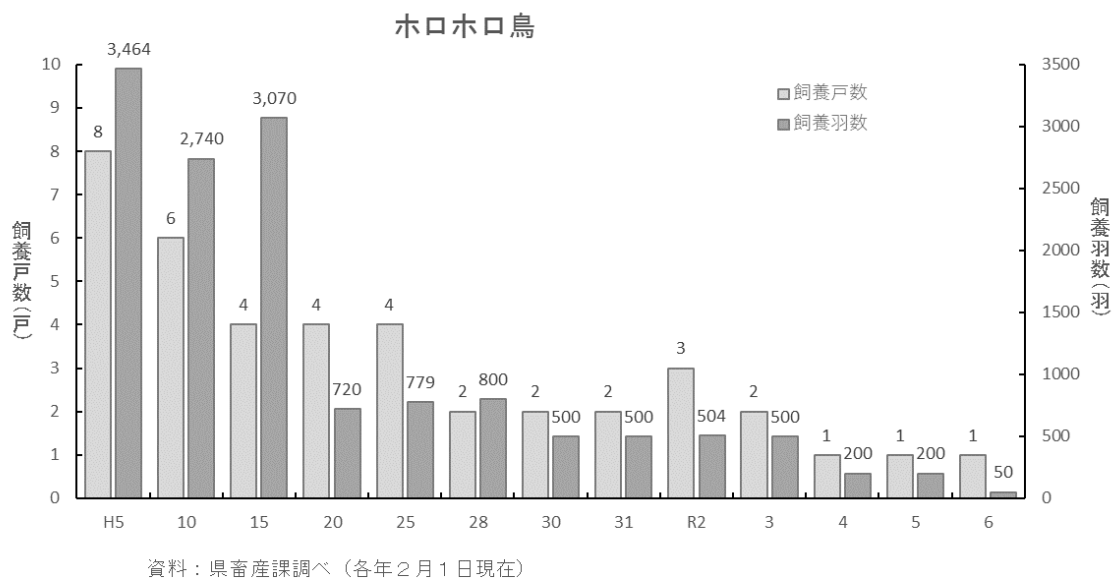
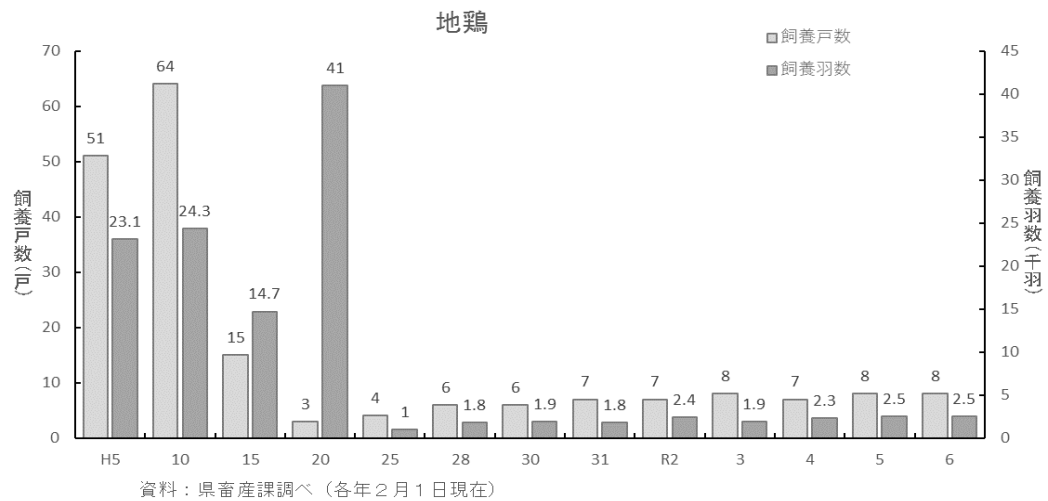
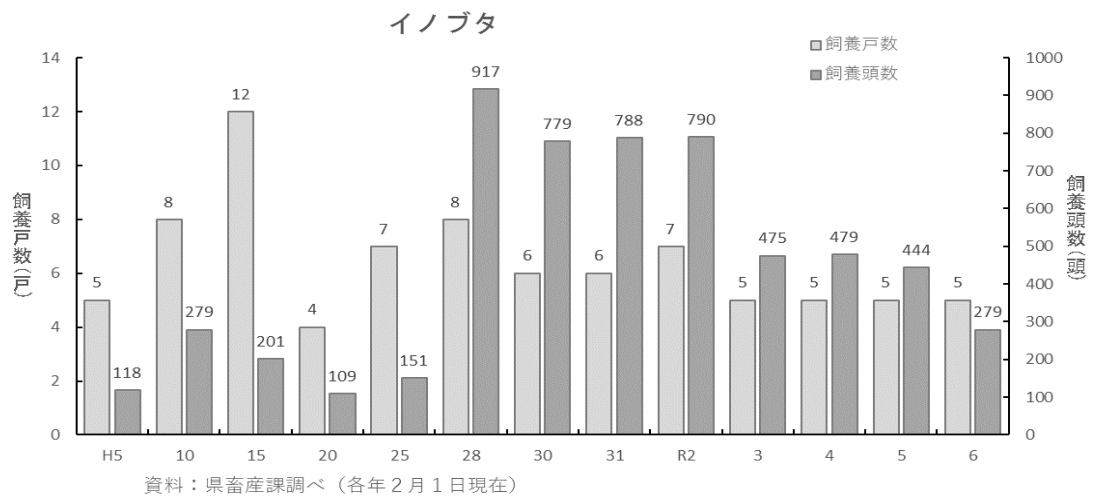
資料：県畜産課調べ

・特用家畜(地域特別用途家畜の略)

犬、猫等のコンパニオン動物と、牛、豚、鶏の産業動物を除いたほとんどの家畜である。

その主なものは哺乳類では、馬、めん羊、ウサギ、ミンク、シカ等を含み、鳥類では、高品質鶏、アヒル、七面鳥、キジ等を含む。本県では主な特用家畜として、ホロホロ鳥、イノブタを位置づけ、推進している。

(2) イノブタ、地鶏、ホロホロ鳥の飼養戸数及び飼養頭羽数



Ⅲ 畜産関係機関

畜産関係機関所在地一覧

名 称	住 所	電話番号
農林水産部 農業生産局畜産課	〒640-8585和歌山市小松原通1-1	073-441-2920
畜産試験場	〒649-3141西牟婁郡すさみ町見老津1	0739-55-2430
畜産試験場養鶏研究所	〒644-1111日高郡日高川町船津1090-1	0738-54-0144
紀北家畜保健衛生所	〒640-8483和歌山市園部1291	073-462-0500
紀南家畜保健衛生所	〒649-2103西牟婁郡上富田町生馬321-10	0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所	〒649-5142東牟婁郡那智勝浦町下里490	0735-58-1481
海草振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒640-8585和歌山市小松原通1-1	073-441-3382
那賀振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒649-6223岩出市高塚209	0736-61-0025
伊都振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒648-8541橋本市脇4-5-8	0736-33-4930
有田振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒643-0004有田郡湯浅町湯浅2355-1	0737-64-1273
日高振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒644-0011御坊市湯川町財部651	0738-24-2926
西牟婁振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒646-8580田辺市朝日ヶ丘23-1	0739-22-1443
東牟婁振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒647-8551新宮市緑ヶ丘2-4-8	0735-29-2011

IV 参考資料

1. 都道府県別畜産統計

(1) 乳用牛の飼養戸数・頭数(令和6年2月1日)

単位(戸数:戸、頭数:頭、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	飼 養 頭 数 (め す)								1戸当たり 飼養頭数	対 前 年 比	
			合 計	成 畜 (2 歳 以 上)					2歳未満 (未経産牛)	未経産牛計		飼養戸数	飼養頭数
				計	経 産 牛			未経産牛					
					小 計	搾 乳 牛	乾 乳 牛						
1	北 海 道	5,170	821,500	504,100	468,000	397,800	70,200	36,100	317,300	353,400	158.9	96.1	97.5
2	青 森	136	11,100	8,540	7,950	6,810	1,140	590	2,610	3,200	81.6	92.5	89.5
3	岩 手	692	38,700	26,300	23,700	20,300	3,400	2,540	12,400	14,900	55.9	95.1	96.3
4	宮 城	368	15,800	12,500	11,500	9,870	1,650	980	3,290	4,260	42.9	92.0	92.4
5	秋 田	70	3,530	2,750	2,580	2,220	360	170	780	960	50.4	92.1	91.7
6	山 形	172	9,660	7,980	7,430	6,330	1,100	550	1,680	2,230	56.2	92.5	86.3
7	福 島	209	10,500	8,020	7,520	6,410	1,110	500	2,430	2,940	50.2	87.8	95.5
8	茨 城	250	23,200	19,700	18,300	15,500	2,820	1,350	3,590	4,940	92.8	90.9	95.1
9	栃 木	553	52,800	42,400	39,500	34,000	5,450	2,940	10,400	13,300	95.5	93.4	97.8
10	群 馬	355	31,900	24,200	22,400	19,100	3,250	1,830	7,670	9,500	89.9	93.7	97.0
11	埼 玉	131	6,360	4,870	4,520	3,910	610	350	1,500	1,850	48.5	88.5	89.6
12	千 葉	363	25,700	21,100	19,900	16,700	3,120	1,220	4,600	5,820	70.8	90.1	97.0
13	東 京	42	1,390	1,080	1,010	880	130	70	310	380	33.1	97.7	97.9
14	神 奈 川	117	4,020	3,240	2,950	2,520	440	290	780	1,070	34.4	89.3	90.7
15	新 潟	133	5,050	4,050	3,750	3,220	530	300	1,000	1,300	38.0	93.0	91.8
16	富 山	31	2,170	1,730	1,640	1,390	250	90	440	530	70.0	96.9	101.4
17	石 川	35	2,930	2,170	2,070	1,790	280	100	760	860	83.7	87.5	96.1
18	福 井	19	950	650	610	530	90	40	300	340	50.0	86.4	88.8
19	山 梨	41	3,070	2,320	2,120	1,820	300	200	750	950	74.9	80.4	89.0
20	長 野	222	13,000	10,300	9,710	8,220	1,490	610	2,710	3,330	58.6	93.7	93.5
21	岐 阜	82	5,060	3,570	3,270	2,830	440	300	1,490	1,790	61.7	92.1	94.9
22	静 岡	154	13,000	10,900	10,000	8,720	1,330	840	2,120	2,960	84.4	94.5	97.0
23	愛 知	199	18,500	15,300	14,500	12,500	1,990	820	3,180	4,010	93.0	90.5	94.4
24	三 重	27	6,860	5,910	5,750	5,020	730	170	950	1,120	254.1	93.1	99.4
25	滋 賀	32	2,370	1,950	1,860	1,610	250	90	420	510	74.1	88.9	95.6
26	京 都	45	3,750	3,190	3,020	2,590	430	170	560	730	83.3	100.0	96.9
27	大 阪	23	1,070	990	950	820	130	40	80	120	46.5	109.5	94.7
28	兵 庫	200	12,300	9,650	8,920	7,740	1,180	730	2,660	3,390	61.5	92.6	99.2
29	奈 良	32	2,780	2,620	2,570	2,230	330	60	150	210	86.9	97.0	93.9
30	和 歌 山	5	500	470	450	390	70	20	30	50	100.0	83.3	100.0
31	鳥 取	96	8,370	6,540	6,230	5,340	880	310	1,840	2,150	87.2	92.3	100.1
32	島 根	72	10,600	8,440	7,980	6,780	1,200	470	2,180	2,640	147.2	91.1	97.2
33	岡 山	181	15,400	12,500	11,900	10,200	1,700	620	2,880	3,500	85.1	94.3	96.3
34	広 島	110	8,990	6,600	6,080	5,180	900	520	2,390	2,910	81.7	91.7	99.7
35	山 口	49	2,400	1,950	1,870	1,620	250	90	450	530	49.0	94.2	98.8
36	徳 島	68	3,420	2,840	2,690	2,350	340	150	580	730	50.3	90.7	96.6
37	香 川	55	5,070	4,210	4,020	3,430	590	190	860	1,050	92.2	91.7	100.6
38	愛 媛	78	4,500	3,440	3,140	2,710	430	300	1,060	1,350	57.7	95.1	99.6
39	高 知	41	2,960	2,370	2,210	1,900	310	170	580	750	72.2	93.2	97.7
40	福 岡	154	10,100	7,570	7,080	6,090	990	500	2,480	2,980	65.6	90.6	94.4
41	佐 賀	32	1,830	1,540	1,440	1,260	180	100	280	390	57.2	94.1	92.9
42	長 崎	110	5,620	4,910	4,610	3,970	650	300	710	1,010	51.1	89.4	91.1
43	熊 本	457	43,000	33,000	30,200	26,000	4,200	2,770	10,000	12,800	94.1	97.9	98.2
44	大 分	94	12,300	8,840	7,750	6,500	1,250	1,100	3,410	4,510	130.9	95.9	92.5
45	宮 崎	200	13,000	9,950	9,170	7,850	1,320	780	3,090	3,870	65.0	98.0	97.0
46	鹿 児 島	131	12,000	9,310	8,530	7,270	1,260	780	2,650	3,430	91.6	94.9	93.8
47	沖 縄	65	3,680	3,100	2,860	2,430	430	250	580	820	56.6	101.6	93.6
	全 国	11,900	1,313,000	889,600	826,200	704,800	121,400	63,400	423,000	486,400	110.3	94.4	96.8

資料: 農林水産省「畜産統計調査」

※成畜(2歳以上)には、2歳未満の経産牛(分べん経験のある牛)を含む。

※統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(2) 肉用牛の飼養戸数・頭数(令和6年2月1日)

単位(戸数:戸、頭数:頭、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	乳用種 のいる戸数	合 計	飼 養 頭 数									1戸当たり 飼養頭数	対前年比	
					肉 用 種				交 雑 種			ホルスタイン種 他	交雑種		飼養戸数	飼養頭数
					計	子取り用めす牛	肥育用牛	育成牛	黒毛和種	褐毛和種	その他					
1	北 海 道	2,120	839	559,500	213,800	73,800	67,500	72,500	207,100	2,570	4,130	152,900	191,800	263.4	97.2	98.6
2	青 森	688	129	55,500	32,900	13,500	13,800	5,790	32,300	0	580	9,660	13,000	80.7	94.8	97.2
3	岩 手	3,170	165	87,900	70,900	28,800	21,400	20,700	68,300	180	2,530	2,710	14,200	27.7	92.2	98.8
4	宮 城	2,370	114	79,500	70,100	25,700	27,800	16,800	69,800	300	70	760	8,660	33.5	92.9	99.3
5	秋 田	590	51	18,800	17,300	6,300	6,750	4,230	16,700	30	550	110	1,360	31.9	92.6	97.4
6	山 形	529	43	43,200	41,400	8,290	30,400	2,680	41,300	－	80	110	1,720	81.7	96.0	101.2
7	福 島	1,470	104	50,500	42,500	13,600	19,700	9,210	42,300	10	220	380	7,670	34.4	93.6	100.4
8	茨 城	404	95	52,300	33,400	4,340	26,100	2,980	33,300	60	80	5,220	13,700	129.5	97.1	100.2
9	栃 木	748	172	86,700	47,300	13,500	22,300	11,600	47,300	0	70	7,530	31,800	115.9	96.9	102.1
10	群 馬	463	208	56,400	33,300	7,710	20,800	4,760	33,300	－	10	820	22,300	121.8	95.7	98.3
11	埼 玉	116	54	17,400	12,000	2,360	8,480	1,150	12,000	－	20	1,980	3,400	150.0	89.2	100.6
12	千 葉	222	119	41,700	12,300	2,400	7,320	2,620	12,300	0	20	3,110	26,200	187.8	95.3	97.2
13	東 京	19	2	740	520	160	300	70	520	－	－	x	x	38.9	105.6	121.3
14	神奈川	51	29	5,130	2,320	380	1,700	240	2,310	0	10	70	2,740	100.6	92.7	103.0
15	新 潟	176	44	12,000	6,330	1,620	3,840	880	6,310	－	20	540	5,120	68.2	98.3	102.6
16	富 山	32	19	3,860	2,460	750	1,350	360	2,440	－	10	100	1,310	120.6	97.0	102.4
17	石 川	62	24	3,630	3,370	560	2,240	570	3,340	10	10	30	230	58.5	84.9	98.9
18	福 井	40	18	1,960	1,390	210	980	200	1,390	－	0	10	550	49.0	100.0	99.0
19	山 梨	58	23	5,210	2,500	780	1,380	350	2,500	－	0	170	2,540	89.8	93.5	99.2
20	長 野	308	75	21,000	15,600	3,320	10,700	1,570	15,500	－	90	310	5,100	68.2	93.9	98.1
21	岐 阜	413	54	34,000	31,900	8,390	18,200	5,310	31,900	0	－	50	1,980	82.3	95.2	99.1
22	静 岡	104	53	19,900	7,820	1,150	6,240	440	7,720	0	90	300	11,800	191.3	94.5	98.5
23	愛 知	314	219	42,300	13,600	3,530	8,810	1,280	13,600	10	40	2,600	26,000	134.7	97.2	99.8
24	三 重	138	25	31,400	27,700	1,510	25,300	840	27,700	－	10	130	3,600	227.5	100.0	101.0
25	滋 賀	81	22	22,000	18,700	2,170	16,100	420	18,700	0	10	160	3,190	271.6	96.4	101.9
26	京 都	64	12	5,290	4,990	690	3,830	470	4,930	－	60	x	280	82.7	97.0	93.0
27	大 阪	9	5	780	670	80	590	0	660	0	10	x	110	86.7	100.0	87.6
28	兵 庫	1,030	47	58,400	49,600	18,000	23,600	8,070	49,200	90	360	330	8,430	56.7	94.5	99.3
29	奈 良	36	16	3,350	3,060	470	2,280	310	3,050	10	10	10	280	93.1	94.7	78.6
30	和 歌 山	44	12	2,870	2,630	730	1,560	340	2,630	－	－	0	230	65.2	91.7	103.6
31	鳥 取	227	42	21,400	13,400	4,850	6,880	1,650	13,300	20	20	3,010	4,980	94.3	94.2	98.6
32	島 根	651	37	32,400	26,400	9,500	12,000	4,880	26,100	0	300	480	5,480	49.8	94.1	96.7
33	岡 山	363	88	35,500	16,500	5,470	8,340	2,670	16,400	20	20	1,760	17,300	97.8	96.0	101.1
34	広 島	407	38	27,700	15,400	4,710	7,850	2,880	15,400	10	0	880	11,400	68.1	93.1	102.6
35	山 口	322	31	14,500	11,100	4,120	4,920	2,030	10,500	20	530	320	3,150	45.0	97.3	99.3
36	徳 島	161	70	22,900	10,900	2,600	7,290	1,040	10,900	30	20	430	11,500	142.2	94.7	98.3
37	香 川	149	62	22,000	9,510	1,760	6,830	910	9,510	－	0	220	12,300	147.7	97.4	101.4
38	愛 媛	133	31	9,910	5,660	1,670	3,300	690	5,600	50	20	960	3,290	74.5	91.1	95.3
39	高 知	111	14	6,390	5,450	2,040	2,790	620	2,930	2,510	10	50	890	57.6	89.5	107.2
40	福 岡	162	59	23,200	14,900	2,870	11,400	660	14,900	－	60	1,730	6,560	143.2	95.9	99.1
41	佐 賀	508	29	52,200	51,000	9,950	36,300	4,760	51,000	－	10	50	1,220	102.8	97.9	99.6
42	長 崎	1,980	80	93,500	78,900	31,000	26,100	21,800	78,300	380	240	800	13,800	47.2	95.2	102.0
43	熊 本	2,020	231	134,000	111,100	44,100	41,400	25,800	94,100	17,000	110	1,830	21,000	66.3	96.7	96.3
44	大 分	964	67	54,400	45,100	18,900	15,500	10,800	45,000	100	70	2,170	7,070	56.4	96.4	103.0
45	宮 崎	4,390	154	258,200	230,900	84,600	87,900	58,300	228,700	80	2,130	2,290	25,100	58.8	93.4	99.2
46	鹿 児 島	5,980	145	362,700	350,100	123,100	154,900	72,200	348,700	20	1,400	580	12,000	60.7	94.2	101.4
47	沖 縄	2,100	67	79,000	78,300	44,200	6,650	27,500	77,200	10	1,060	70	610	37.6	98.1	97.5
	全 国	36,500	4,040	2,672,000	1,897,000	640,400	841,600	415,300	1,859,000	23,400	15,100	207,700	567,200	73.2	94.6	99.4

資料: 農林水産省「畜産統計調査」

※表中の「0」頭は、1～4頭を四捨五入したものである(例: 4頭→0頭)

※統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(3) 豚の飼養戸数・頭数(令和6年2月1日)

単位(戸数:戸、頭数:頭、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	子取り用めす豚のいる戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数	対前年比	
				計	子取り用めす豚	種おす豚	肥 育 豚	そ の 他		飼養戸数	飼養頭数
1	北海道	186	163	752,200	66,200	1,880	625,400	58,700	4,044.1	97.4	99.0
2	青森	48	34	334,800	23,400	430	297,600	13,400	6,975.0	92.3	94.0
3	岩手	83	65	459,100	43,500	1,460	385,600	28,500	5,531.3	97.6	96.9
4	宮城	88	69	180,000	18,100	740	146,600	14,500	2,045.5	93.6	99.8
5	秋田	67	54	308,500	29,200	520	238,200	40,600	4,604.5	104.7	114.2
6	山形	54	40	159,900	13,200	290	135,600	10,900	2,961.1	81.8	94.3
7	福島	49	39	111,600	9,130	290	80,900	21,200	2,277.6	94.2	90.2
8	茨城	208	156	424,000	34,700	1,780	385,200	2,320	2,038.5	92.0	92.5
9	栃木	82	69	324,900	26,400	680	290,700	7,140	3,962.2	92.1	108.4
10	群馬	163	137	610,800	51,300	1,550	544,700	13,300	3,747.2	94.8	102.9
11	埼玉	57	48	75,600	5,470	300	67,600	2,250	1,326.3	91.9	91.6
12	千葉	216	147	580,700	46,500	1,130	527,400	5,680	2,688.4	96.9	98.7
13	東京	10	5	2,030	110	30	1,540	350	203.0	125.0	108.0
14	神奈川	41	32	67,200	5,720	280	60,600	630	1,639.0	102.5	104.0
15	新潟	71	59	133,400	12,200	470	107,900	12,800	1,878.9	87.7	84.5
16	富山	12	7	19,700	1,380	110	14,000	4,170	1,641.7	92.3	83.8
17	石川	11	10	15,800	1,620	80	13,000	1,180	1,436.4	100.0	88.8
18	福井	3	2	2,390	x	0	2,190	-	796.7	100.0	139.8
19	山梨	14	9	11,000	970	90	9,610	320	785.7	93.3	106.8
20	長野	46	32	53,000	5,270	210	43,700	3,850	1,152.2	93.9	98.7
21	岐阜	26	18	91,300	6,010	140	84,400	760	3,511.5	92.9	93.1
22	静岡	69	57	97,100	10,100	770	75,200	11,000	1,407.2	95.8	107.2
23	愛知	138	117	287,400	25,600	1,160	258,900	1,730	2,082.6	100.0	93.1
24	三重	40	33	98,900	6,580	190	88,300	3,800	2,472.5	93.0	110.5
25	滋賀	3	-	1,480	-	-	1,480	-	493.3	100.0	113.0
26	京都	9	6	12,600	980	60	11,000	590	1,400.0	128.6	100.0
27	大阪	5	2	2,030	x	10	1,910	-	406.0	100.0	98.5
28	兵庫	16	11	20,000	550	20	16,700	2,730	1,250.0	84.2	97.1
29	奈良	7	6	3,190	250	20	2,920	0	455.7	87.5	89.4
30	和歌山	5	4	1,140	110	10	1,020	-	228.0	83.3	78.1
31	鳥取	14	13	61,800	5,570	90	49,900	6,230	4,414.3	93.3	100.5
32	島根	5	5	39,200	3,690	80	35,500	-	7,840.0	100.0	105.7
33	岡山	19	12	45,600	3,930	270	41,300	160	2,400.0	100.0	109.6
34	広島	24	17	147,600	11,200	180	124,600	11,600	6,150.0	100.0	97.6
35	山口	6	5	32,100	2,480	130	27,000	2,500	5,350.0	85.7	96.1
36	徳島	18	16	45,300	3,660	130	38,400	3,130	2,516.7	100.0	97.0
37	香川	20	15	27,900	2,140	140	21,400	4,210	1,395.0	100.0	88.9
38	愛媛	67	49	196,500	17,000	460	156,200	22,900	2,932.8	100.0	99.3
39	高知	15	12	21,900	2,090	80	19,500	240	1,460.0	100.0	87.3
40	福岡	39	22	79,800	7,640	140	64,300	7,670	2,046.2	100.0	101.3
41	佐賀	28	25	69,500	6,100	220	61,500	1,760	2,482.1	90.3	81.4
42	長崎	67	58	181,200	15,500	460	153,700	11,500	2,704.5	91.8	93.1
43	熊本	126	98	347,900	28,600	1,060	293,100	25,100	2,761.1	88.1	102.9
44	大分	37	27	153,200	13,500	410	136,600	2,720	4,140.5	92.5	102.3
45	宮崎	261	170	721,900	62,400	1,650	607,000	50,900	2,765.9	88.5	88.2
46	鹿児島	387	290	1,200,000	112,300	3,690	856,200	227,900	3,100.8	87.4	104.1
47	沖縄	174	125	184,500	15,800	890	155,500	12,200	1,060.3	89.2	94.2
	全 国	3,130	2,390	8,798,000	758,300	24,800	7,362,000	653,100	2,810.9	92.9	98.2

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。

ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(4) 採卵鶏の飼養戸数・羽数(千羽)(令和6年2月1日)

単位(戸数:戸、羽数:千羽、比率:%)

	都 道 府 県	飼 養 戸 数	飼 養 羽 数					1 戸 当 た り 成 鶏 め す 飼 養 羽 数 (採 卵 鶏)	対前年比	
			計	採卵鶏(種鶏を除く)			種 鶏		飼養戸数 (採卵鶏)	成鶏めす羽 数(6か月 以上)
				計	ひ な (6か月未満)	成鶏めす (6か月以上)				
1	北 海 道	56	5,692	5,670	1,146	4,524	22	80.8	107.7	86.0
2	青 森	24	6,540	6,540	1,638	4,902	-	204.3	104.3	134.9
3	岩 手	23	5,097	4,991	1,412	3,579	106	188.4	100.0	98.6
4	宮 城	33	3,964	3,964	529	3,435	-	104.1	97.1	109.0
5	秋 田	15	2,374	2,374	275	2,099	-	139.9	107.1	99.2
6	山 形	13	427	427	52	375	-	28.8	130.0	102.5
7	福 島	37	5,220	5,220	1,895	3,325	-	89.9	92.5	88.7
8	茨 城	83	12,310	12,109	1,887	10,222	201	131.1	89.7	105.0
9	栃 木	43	6,177	6,177	969	5,208	-	121.1	102.4	101.9
10	群 馬	46	9,765	9,602	3,310	6,292	163	136.8	88.5	116.0
11	埼 玉	63	3,651	3,651	1,605	2,046	-	32.5	103.3	114.2
12	千 葉	90	14,173	14,129	2,943	11,186	44	127.1	96.7	115.4
13	東 京	15	69	66	11	55	3	3.9	116.7	83.3
14	神 奈 川	38	1,041	1,041	16	1,025	-	27.0	92.7	102.4
15	新 潟	42	4,695	4,021	1,418	2,603	674	81.3	91.4	79.0
16	富 山	14	719	719	107	612	-	43.7	93.3	86.6
17	石 川	6	690	690	63	627	-	104.5	66.7	54.7
18	福 井	12	740	740	2	738	-	61.5	100.0	102.2
19	山 梨	17	505	505	62	443	-	26.1	77.3	97.1
20	長 野	17	690	688	211	477	2	28.1	106.3	107.2
21	岐 阜	57	5,831	5,428	886	4,542	403	108.1	97.7	109.7
22	静 岡	47	4,794	4,691	906	3,785	103	88.0	104.9	85.6
23	愛 知	113	8,109	8,037	1,419	6,618	72	60.7	100.9	104.3
24	三 重	63	5,749	5,719	1,145	4,574	30	72.6	98.4	95.7
25	滋 賀	15	242	242	17	225	-	15.0	107.1	107.7
26	京 都	25	1,515	1,515	20	1,495	-	59.8	92.6	95.5
27	大 阪	12	49	49	7	42	-	3.5	100.0	97.7
28	兵 庫	44	5,677	5,654	733	4,921	23	114.4	100.0	89.9
29	奈 良	23	284	284	20	264	-	11.5	100.0	93.6
30	和 歌 山	18	265	265	5	260	-	14.4	94.7	102.8
31	鳥 取	8	242	242	12	230	-	28.8	114.3	167.9
32	島 根	14	934	934	173	761	-	54.4	87.5	98.7
33	岡 山	48	10,036	10,036	2,947	7,089	-	147.7	84.2	120.8
34	広 島	41	9,260	9,208	3,075	6,133	52	153.3	102.6	111.9
35	山 口	13	1,655	1,655	498	1,157	-	89.0	100.0	95.3
36	徳 島	14	831	831	190	641	-	45.8	100.0	106.3
37	香 川	36	5,059	5,037	1,316	3,721	22	103.4	83.7	84.6
38	愛 媛	35	2,148	2,144	509	1,635	4	46.7	94.6	106.7
39	高 知	10	275	272	26	246	3	27.3	75.0	93.5
40	福 岡	55	2,874	2,852	436	2,416	22	44.7	90.0	77.2
41	佐 賀	24	251	251	18	233	-	9.7	100.0	126.6
42	長 崎	51	1,826	1,826	278	1,548	-	30.4	100.0	96.1
43	熊 本	38	2,481	2,466	451	2,015	15	53.0	108.6	97.4
44	大 分	15	914	912	46	866	2	57.7	107.1	106.7
45	宮 崎	53	3,194	3,098	716	2,382	96	49.6	88.9	111.8
46	鹿 児 島	101	10,302	10,196	3,115	7,081	106	72.3	105.4	85.5
47	沖 縄	35	1,440	1,431	355	1,076	9	31.6	91.9	99.0
	全 国	1,700	170,776	168,599	38,870	129,729	2,177	79.1	97.0	100.9

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※飼養戸数には成鶏めす1千羽未満の飼養者を含まない。

※統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(5)ブロイラーの飼養戸数・羽数(千羽)(令和6年2月1日)

単位(戸数:戸、羽数:千羽、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	飼養羽数	1戸当たり 飼養羽数	対前回比	
					出荷羽数	飼養羽数
1	北海道	8	5,531	691.4	100.0	103.1
2	青森	59	7,639	129.5	98.3	110.6
3	岩手	301	23,604	78.4	102.0	113.7
4	宮城	37	1,990	53.8	97.4	96.1
5	秋田	-	-	nc	nc	nc
6	山形	13	542	41.7	100.0	90.8
7	福島	31	751	24.2	103.3	94.2
8	茨城	36	1,350	37.5	97.3	106.7
9	栃木	8	x	x	100.0	x
10	群馬	26	1,587	61.0	104.0	100.8
11	埼玉	1	x	x	100.0	x
12	千葉	24	1,935	80.6	96.0	104.1
13	東京	-	-	nc	nc	nc
14	神奈川	-	-	nc	nc	nc
15	新潟	10	1,201	120.1	100.0	95.8
16	富山	-	-	nc	nc	nc
17	石川	-	-	nc	nc	nc
18	福井	3	91	30.3	100.0	92.9
19	山梨	8	392	49.0	100.0	100.8
20	長野	18	696	38.7	94.7	103.6
21	岐阜	11	939	85.4	84.6	93.1
22	静岡	18	947	52.6	75.0	87.8
23	愛知	12	962	80.2	100.0	91.8
24	三重	8	662	82.8	100.0	105.4
25	滋賀	2	x	x	100.0	x
26	京都	11	535	48.6	110.0	112.6
27	大阪	-	-	nc	nc	nc
28	兵庫	32	2,412	75.4	76.2	108.5
29	奈良	1	x	x	50.0	x
30	和歌山	16	231	14.4	100.0	92.8
31	鳥取	11	3,151	286.5	100.0	97.8
32	島根	4	377	94.3	200.0	x
33	岡山	18	2,840	157.8	100.0	100.9
34	広島	8	647	80.9	114.3	x
35	山口	22	1,497	68.0	95.7	101.6
36	徳島	134	3,855	28.8	100.0	103.5
37	香川	30	2,119	70.6	100.0	96.4
38	愛媛	22	957	43.5	88.0	88.4
39	高知	9	397	44.1	112.5	94.7
40	福岡	30	1,168	38.9	81.1	98.6
41	佐賀	62	3,929	63.4	100.0	99.5
42	長崎	48	3,297	68.7	96.0	109.0
43	熊本	56	3,746	66.9	88.9	94.4
44	大分	42	1,782	42.4	84.0	72.8
45	宮崎	442	28,155	63.7	95.7	99.6
46	鹿児島	402	32,003	79.6	103.1	102.3
47	沖縄	15	624	41.6	107.1	99.4
	全 国	2,050	144,859	70.7	97.6	102.4

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(6)ミツバチの飼養戸数・ほう群数及びはちみつ生産量

(令和6年1月1日、生産量は令和5年)

	都道府県	飼養戸数 (戸)	飼養群数 (群)	生産量 (kg)
1	北海道	105	2,566	380,718
2	青森	117	2,298	137,953
3	岩手	149	3,648	25,691
4	宮城	181	1,638	24,103
5	秋田	112	1,339	165,580
6	山形	157	4,805	19,500
7	福島	357	5,698	33,271
8	茨城	279	3,653	8,056
9	栃木	315	4,627	15,272
10	群馬	361	5,354	-
11	埼玉	430	7,307	22,960
12	千葉	511	13,783	31,669
13	東京	214	1,461	21,548
14	神奈川	423	2,537	13,756
15	新潟	180	1,495	35,863
16	富山	38	331	16,722
17	石川	93	691	15,239
18	福井	56	305	17,398
19	山梨	134	2,047	24,960
20	長野	599	1,779	183,958
21	岐阜	410	6,119	63,024
22	静岡	478	6,007	90,960
23	愛知	372	5,284	111,026
24	三重	140	5,094	25,100
25	滋賀	108	1,471	60,667
26	京都	226	1,214	18,188
27	大阪	124	1,425	-
28	兵庫	317	3,420	72,446
29	奈良	97	1,307	-
30	和歌山	294	11,711	129,840
31	鳥取	144	1,449	4,886
32	島根	331	2,604	25,188
33	岡山	374	4,720	25,103
34	広島	477	6,653	180,000
35	山口	342	3,780	-
36	徳島	231	2,603	48,000
37	香川	179	3,669	15,000
38	愛媛	316	5,831	46,353
39	高知	52	972	7,084
40	福岡	363	9,710	88,240
41	佐賀	133	3,278	18,733
42	長崎	258	5,643	22,103
43	熊本	267	13,587	244,566
44	大分	258	5,061	68,042
45	宮崎	204	5,032	16,918
46	鹿児島	441	12,389	34,878
47	沖縄	314	22,715	25,843
	全 国	12,061	220,110	2,636,405

資料:県畜産課調べ

2. 家畜衛生

家畜伝染病(法定伝染病)発生状況(全国)

年次	口蹄疫	流行性脳炎	炭疽	ブルセラ病	結核病	ヨーネ病	ヒロブラズマ病	アナブラズマ病	馬伝染性貧血	豚熱	ニューカッスル病	家きんサルモネラ症	腐蛆病	伝達性海綿状脳症	高病原性鳥インフルエンザ
平成 17			4		1	483 (めんま3山主2)							83	8 (めんま1)	10
18			6		1	606 (めんま1山主1)							70	10	1
19			3	1		435 (山主3)		1					69	3	4
20			8	1		523 (山主3)		1					64	1	
21			4	1	3	317 (めんま1山主3)							64	1	3
22 10(水牛1)			3	2	1	234 (めんま3山主2)					1	10	39	2	1
23						212 (めんま1)			2				45	(めんま2)	23
24			3			295 (山主2)							42		
25			4			326 (めんま1山主1)							49		
26			6			329 (めんま1山主1)							57		4
27			2			316 (山主4)							59		
28			5			321 (めんま1山主2)							43	(めんま1)	7
29						380 (めんま1山主3)							30	(山主1)	5
30						446 (めんま3山主1)				5			42		1
31			1			519 (めんま1山主3)				45			33		
令和 2						471 (めんま4山主8)	1			10			39		33
3						525 (めんま1山主3)				15			33		25
4			1							(いのしし)			26		58
5			2							4			16	(めんま1)	32
6			2							5			9	(めんま2)	22

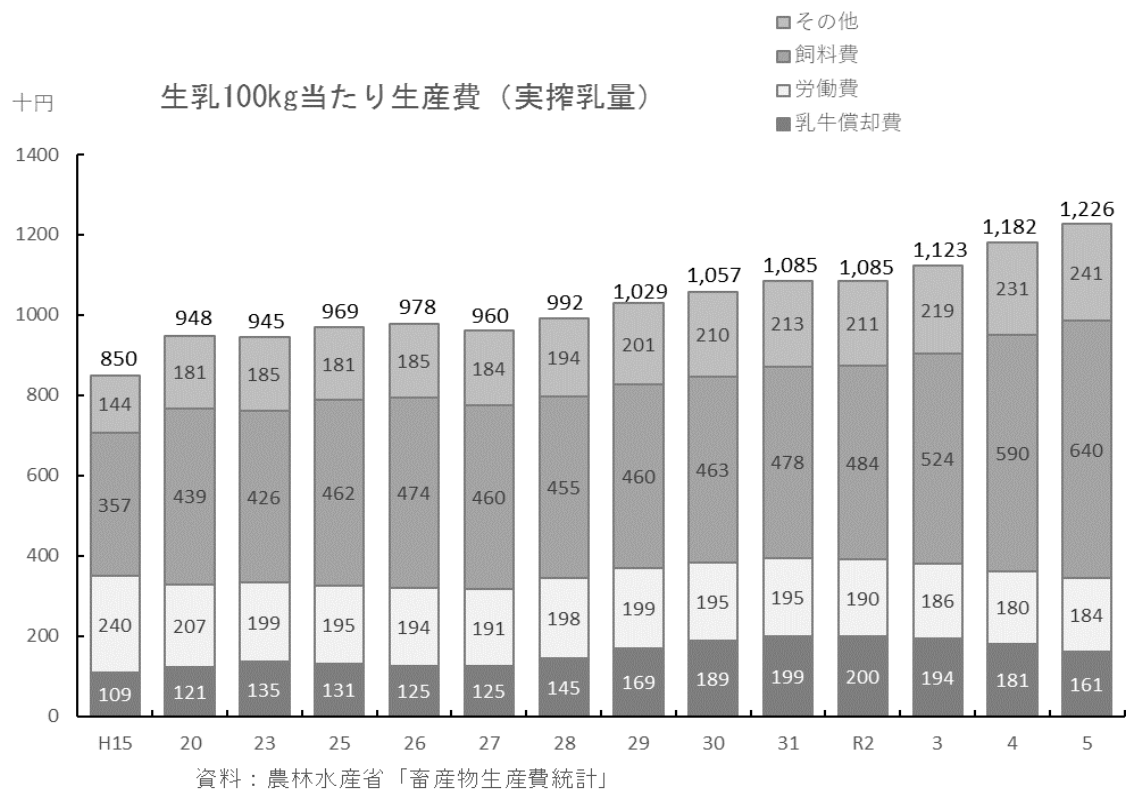
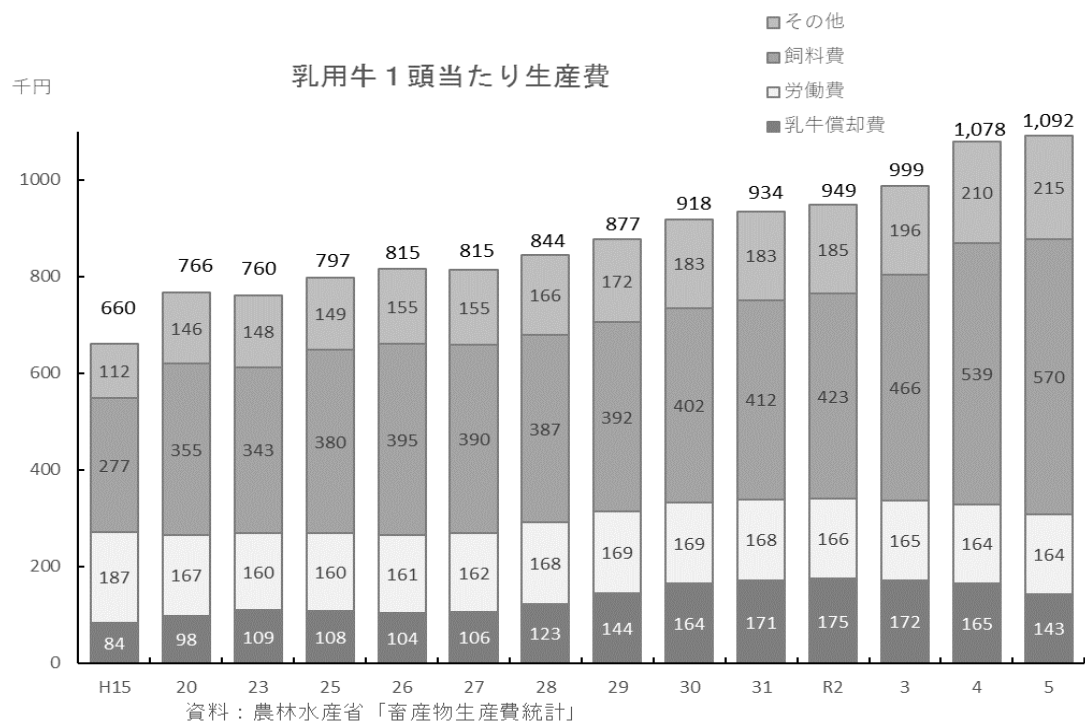
家畜伝染病(法定伝染病)発生状況(和歌山県)

年次	口蹄疫	流行性脳炎	炭疽	ブルセラ病	結核病	ヨーネ病	ヒロブラズマ病	アナブラズマ病	馬伝染性貧血	豚熱	ニューカッスル病	家きんサルモネラ症	腐蛆病	伝達性海綿状脳症	高病原性鳥インフルエンザ
平成 17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															1
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
令和 2										1					1
3															
4															1
5															(めんま1)
6															

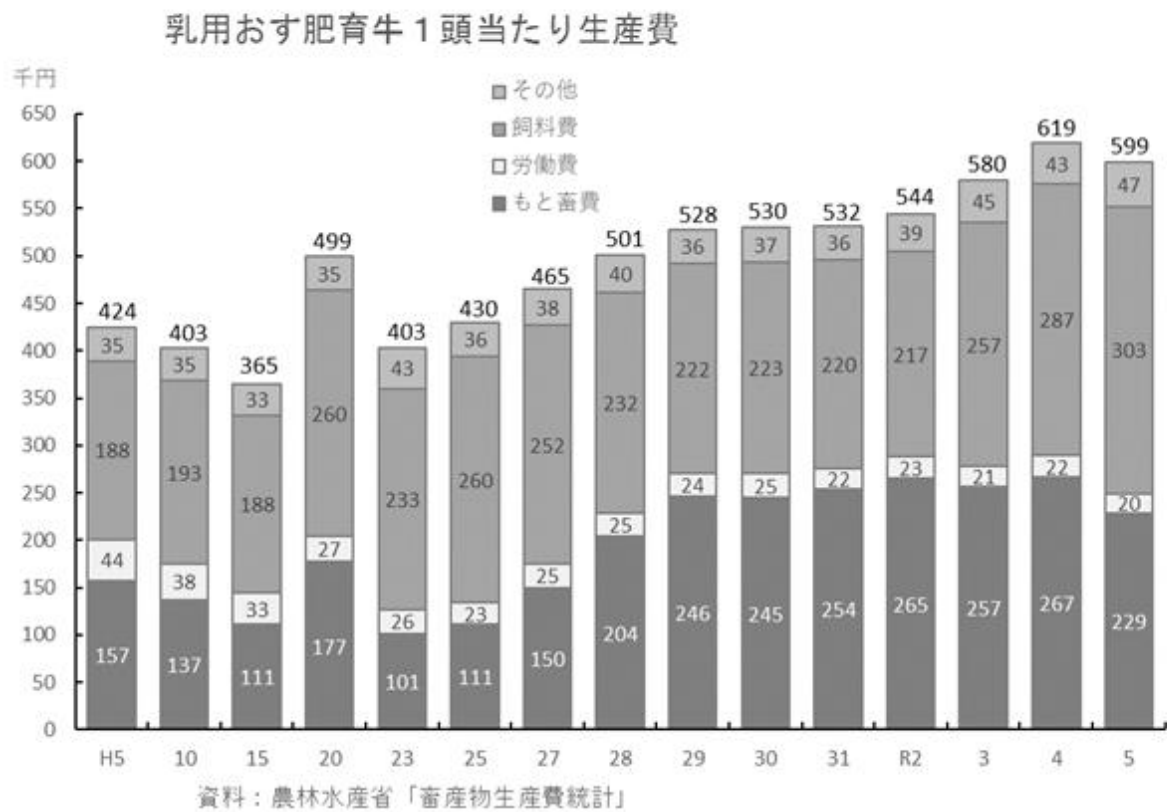
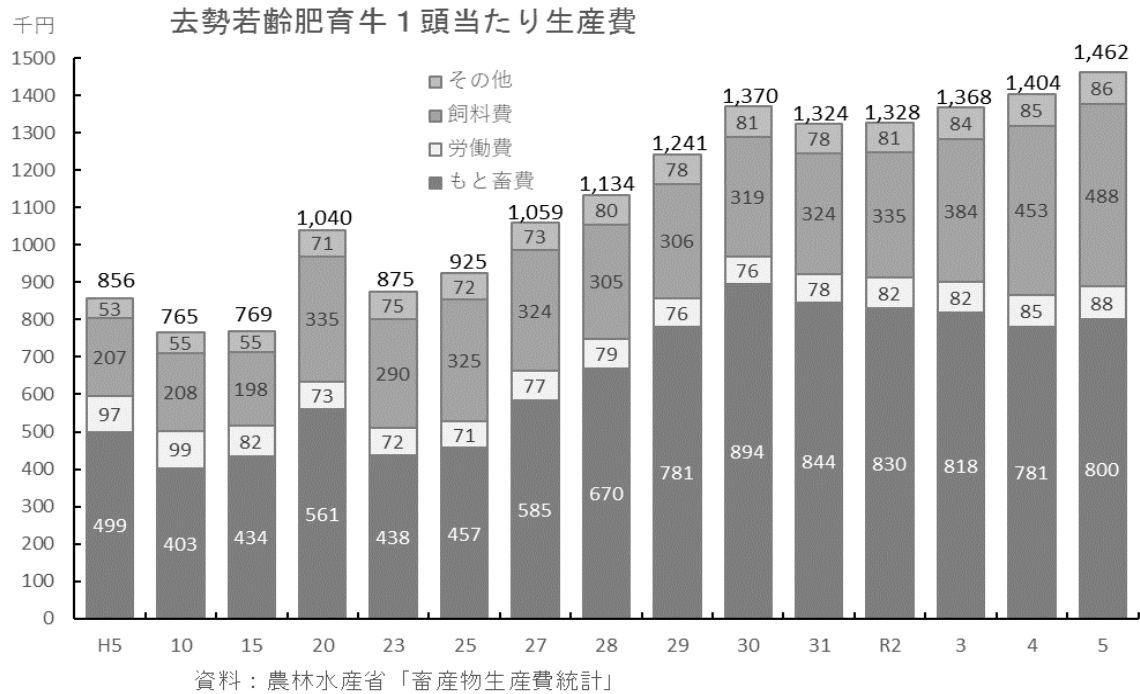
※資料：農林水産省「監視伝染病発生年表」 ※毎年1月～12月の数値

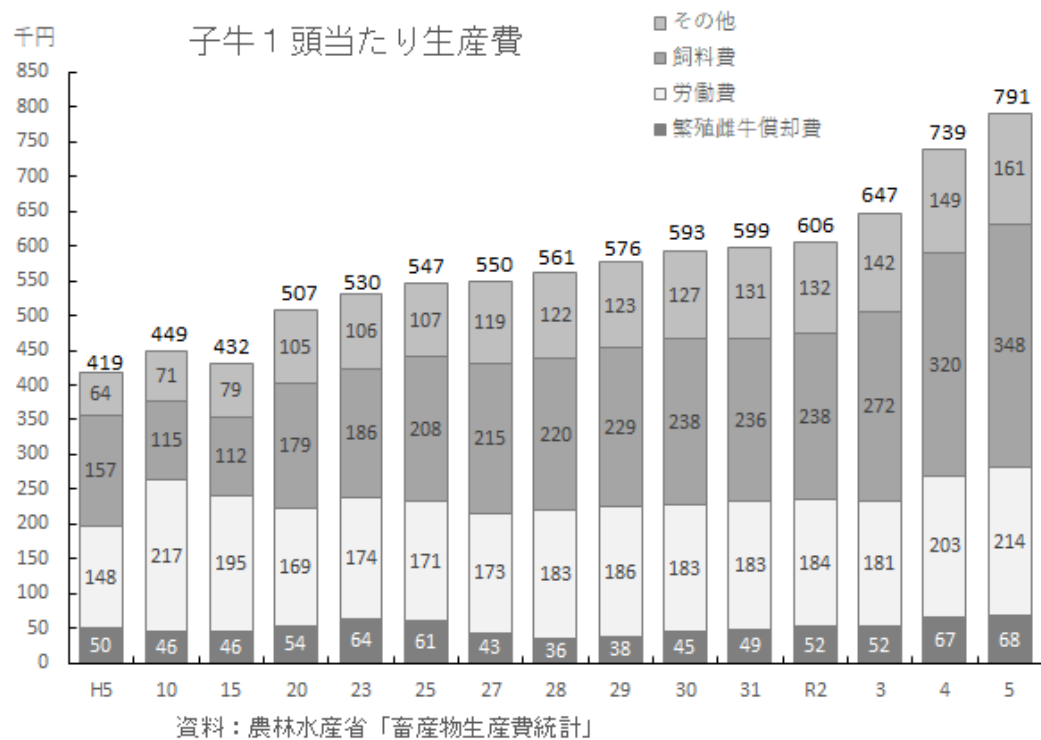
3. 畜産物生産費(全国)

(1) 乳用牛生産費

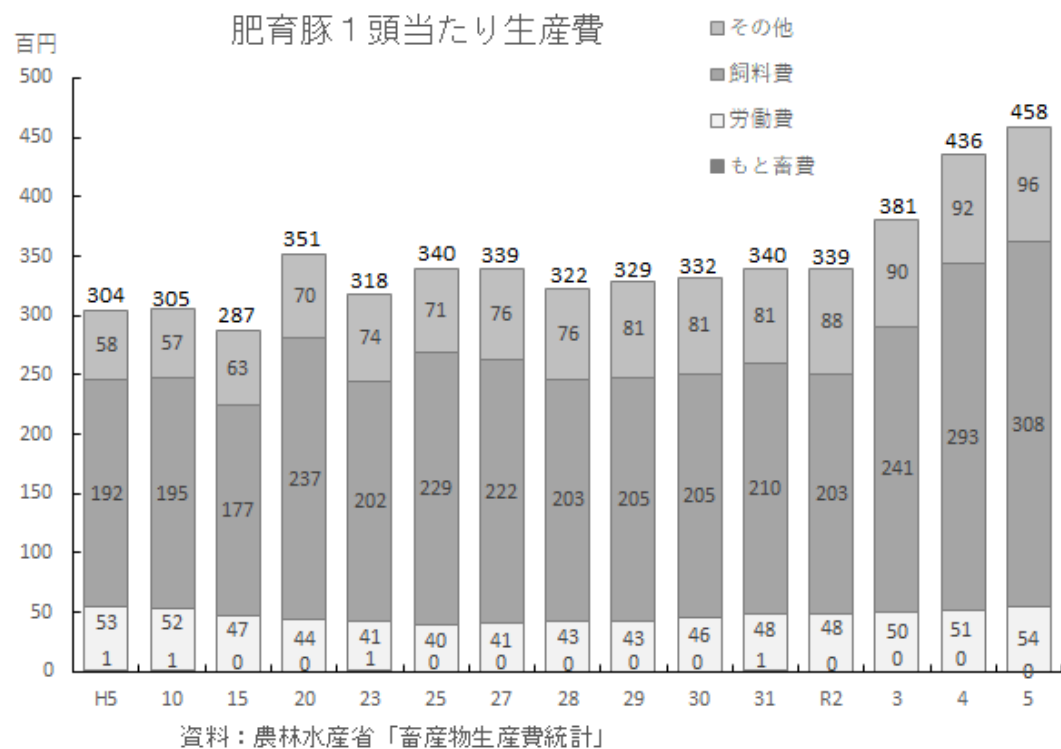


(2)肉用牛生産費





(3) 豚生産費



4. 畜産環境

(1) 家畜のふん尿処理の動向

県内の畜産経営体のうち、牛は10頭未満、豚は100頭未満、鶏は2,000羽未満を除いた72戸の家畜ふん尿処理の利用施設については、図表のとおりである。

図表 家畜ふん尿処理の利用施設(令和5年度)

区分 畜産	調査対象総数	主な処理施設別利用経営体数(延数)								
		堆肥舎	強制発酵施設	乾燥(天日・機械式)施設	貯留槽	液肥化施設	汚水浄化施設	簡易対応	その他(焼却施設含む)	
乳用牛	4	14	4	3	1	0	0	2	1	3
肉用牛	33	36	23	9	0	0	0	0	2	2
豚	3	4	2	1	0	0	0	0	1	0
採卵鶏	13	19	10	5	4	0	0	0	0	0
ブロイラー	19	19	12	0	0	0	0	0	2	5
計	72	92	51	18	5	0	0	2	6	10

資料: 県畜産課調べ(令和6年2月1日)

主な処理施設は、堆肥舎によるものが51戸と全体の55%を占めており、強制発酵施設18戸(20%)、その他(焼却施設含む)10戸(11%)、乾燥(天日・機械式)施設5戸(5%)、簡易対応6戸(7%)、汚染浄化施設2戸(2%)の順となっている。

畜種別に見ると、全畜種ともに堆肥舎が中心であるが、肉用牛の強制発酵施設や採卵鶏の乾燥(天日・機械式)施設による経営体も比較的多い。

(2) 畜産環境保全に関する事業概要(令和5年度)

ア 家畜堆肥利用体制の構築

県内産家畜堆肥の流通円滑化を図るため、耕種農家と畜産農家のマッチングを行うとともに、堆肥散布実証展示会の開催、良質堆肥の生産技術指導等を実施している。

イ 家畜ふん尿処理施設・機械等整備推進

環境汚染の防止及び家畜ふん尿の適切な処理を目的とし、家畜ふん尿処理施設・機械等の整備を推進している。

ウ その他

畜産に起因する環境問題を未然防止するため、畜産農家に対する巡回及び指導を実施している。

5. 和歌山県の畜産物紹介

(1) 熊野牛

熊野牛は、その名のとおり和歌山県南部「熊野地方」で昔(旧藩時代)から飼われていた和牛で、農耕用の貴重な労働力として活躍していました。

元々優秀な能力と由緒を持っている熊野牛は、選び抜かれた血統を取り入れた改良により和歌山県特産の黒毛和種として平成3年にブランド化されました。

現在、熊野牛の基準を、和歌山県内又は熊野牛認定委員会「以下委員会」が指定する牧場で、出荷月齢の半数以上飼育された24ヶ月齢以上の黒毛和種から生産された枝肉で、(公社)日本食肉格付協会による枝肉格付けがA3、B3以上のもの、もしくは委員会が委嘱した調査員により肉質等が確認され、委員会において適当と認められたものと規定しています。

熊野牛の肉質はきめ細かで柔らかく、肉そのものの風味に優れています。主に県内及び近畿圏内で消費され、一部インターネット販売やホテルなどにより全国販売されています。



(2) 紀州和華牛

赤身肉に対する消費者ニーズの高まりを受け、県畜産試験場では平成27年から29年にかけて、脂肪交雑を抑えた黒毛和牛の生産技術の研究を実施しました。

みかんジュースかすや醤油かすなどの県産副産物を活用した飼料を給与することで、ビタミン豊富で脂肪交雑を抑えた和牛肉の生産が可能となり、平成31年に「紀州和華牛」としてデビューしました。

紀州和華牛は、和歌山県内で肥育された黒毛和牛で、県産副産物を1割以上利用した飼料で、ビタミン制限を行わず飼育し、枝肉格付けがA2～4、B2～4のものとし、紀州和華牛協議会が認定を行っています。

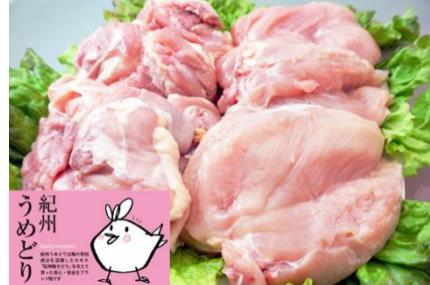
紀州和華牛は、ロース芯の脂肪交雑が抑えられていることに加え、ビタミンE含量が約1.7倍増加することがわかっており、熊野牛とともに、和歌山県のブランド牛として、県内外で販売されています。



(3) 紀州うめどり

紀州うめどりは、梅干しの製造段階で出る梅酢を活用して、品質の高い鶏肉ができないかという発想のもと、平成 15 年に生まれたブランドです。県養鶏研究所と県内梅加工業者との共同研究により開発された脱塩濃縮梅酢「紀州梅そだち」を飼料に添加して育った鶏で、内臓脂肪が減少、免疫力が向上します。

紀州うめどりは、保水力が高く、保存時に水分の流出が少ないことから、旨味がしっかりと鶏肉の中に閉じ込められ、パサつきにくい。また、梅酢の有効成分により、脂質の酸化が抑制されるため、一般的なブロイラーと比較し、鶏臭さが少ないのも特徴です。



(4) 紀州うめたまご

紀州うめたまごは、紀州うめどり同様、「紀州梅そだち」を飼料に添加して飼育しています。お子さんや妊婦さんに大切な栄養素である、ビタミンの一種「葉酸」を一般的な卵より多く含むのが紀州うめたまごの特徴です。

優良県産品にも認定されており、ケーキ店などからの評判が良く、インターネットでも販売されています。



紀州うめたまごの特徴

卵	葉酸含有量の増加
---	----------

※紀州梅そだちについて

開発当初は「脱塩濃縮梅酢 BX70」(梅 BX70)としていたが、「紀州梅そだち」と名称を変更。

(5) 龍神コッコ

「龍神コッコ」は、田辺市龍神村で300年以上飼養されてきた日本鶏「龍神地鶏」と「ロードアイランドレッド」の交雑により、令和2年度に畜産試験場養鶏研究所が開発した新たな卵用地鶏です。

令和3年5月から、田辺市龍神村において飼養が始まり、卵が販売されています。



卵の特徴

- ・サイズは一般卵と比べて小振りで卵かけごはんにピッタリ
- ・旨味成分(グルタミン酸)の含有量が一般卵より多い
- ・濃厚な味わいでコクがあり、後味も良い

(6)イノブタ

イノブタは昭和43年にすさみ町長が畜産試験場へ雄イノシシの子どもを寄贈したことが始まりで、その雄イノシシと雌豚を交配させて昭和45年3月8日に初めて誕生しました。その後、昭和49年より公の機関としては全国に先駆けて農林省の総合助成を受け、イノブタの試験研究を始めました。イノブタは、デュロック種またはバークシャー種の雌ブタと雄イノシシを交配した一代雑種(F1)で、イノシシの旨みと豚肉の柔らかさを併せ持ち、産子も多くとれることからこの組み合わせがベストとされています。肥育期間はブタに比べ3～4ヶ月長く、脂身は甘くこくがあり、口の中でとろけるような滑らかさをもっています。また、肉色は赤みが濃く牛肉に似ているのが特徴です。

イノブタの主産地であるすさみ町では、イノシシとブタの良いところ(恵み)を取った肉という意味で「イブの恵み」と名付け、ブランド化がすすめられています。

なお、平成26年度から消費者の幅広いニーズに応えるため、雌豚(デュロック種)と雄イノブタ(雌豚バークシャー種×雄イノシシ)を交配したB1(戻し交配)イノブタの生産を開始し増頭に努めています。



イノブタ肉『イヴの恵み』



『イノブタ』

(7)ホロホロ鳥

アフリカ西部原産のキジ目の鳥で、大変美味とされフランスを中心としたヨーロッパでフランス料理やイタリア料理の食材用として多数飼育されています。

肉は赤みが濃く、肉質がしまっていて独特の風味、コクがありヘルシーであるのが特徴です。

本県では、日高川町(旧中津村)で飼育されています。



『ホロホロ鳥』

(8)はちみつ

ミツバチが植物の花蜜を集め、巣に貯え、熟成した天然の甘味物質であるはちみつ。
気候の温暖な和歌山は、ほう群数、蜂蜜生産量のいずれも全国有数の産地です。

和歌山県の特徴であるみかんの花を蜜源とするみかんはちみつや、日本在来種であるニホンミツバチのはちみつなども生産されています。

